

令和元年度 文部科学省委託
「幼稚園の人材確保支援事業」

事業成果報告書

全国認定こども園協会 宮城県支部

1. 研究の概要
2. 調査研究の内容報告
(1) 養成校へのヒヤリング調査
(2) アンケート調査結果
3. 令和元年度 研修報告
4. おわりに

別冊 (添付)

フリーペーパー

【事業内容 概要】

- 4月 ≪事前準備≫ 養成校先生へのヒヤリング調査
●事業開始にあたって学生、離職者の実態・状況を知る
- 9月 ≪新たな学びの場≫ 『せんだい保育マルシェ』開催
●12の講座・ワークショップ・シンポジウムを設定
●学生・現任保育者 延べ400名が参加
- 12月 ≪研修会≫ 社会保険労務士による『職員定着セミナー』開催 ●38名参加
- 12月～ ≪アンケート調査≫ 学生・在職者・退職者へ
●良い職場とは、人間関係改善には、退職理由など
●学生191名・在職者54名・退職者16名が回答
- 1月 ≪視察研修会≫ 『認定こども園めぐりバス・ツアー』開催 ●2つの園を視察 ●23名参加
- 2月 ≪学生向け冊子≫ フリーペーパー『ほいくの“市場(マルシェ)”』4,000部作成
●養成校へ届ける

1. 研究の概要

1-1 幼稚園・こども園における人材確保の現状

ある県内保育団体の報告によると、3年未満の退職者が例年100名近くになる。若手が多く辞めることで、5年から7年目の中堅層の保育者が育ちにくい環境にある。この100名を埋めるべく新規採用では、各園とても苦戦をしていて、新規採用者を採れない状況にある。

さらに、認可保育園・認定こども園・小規模保育園・企業主導型保育園の保育施設種別による多様な就職先の選択肢が増えたことに加え、関東圏からの多くの求人が出ていることで、県外への流出傾向が強まっていると宮城県養成校連盟のアドバイザー教員も感じている。このことにより、より一層、幼稚園・こども園への就職希望者が減少しているという現状が生まれている。

1-2 幼稚園・こども園における人材確保の必要性

離職防止・定着促進について、前述のとおり、新規採用者の争奪戦が起きている。新卒者の採用と離職を繰り返す悪循環が進むことで、園全体、特に中堅保育者の負担が増加し、結果として中間管理職が敬遠され、組織の弱体化が進んでしまうという懸念がある。学生や在職者、退職者含めた調査をし、まず、在職中に保育者が何を感じ、何を求め、何に不満があるのかを理解する必要がある。

また、同時進行として、保育業界の定着率の低さを「特殊なこと」とせず、異業種の例などから学ぶ場が少ないため、中堅・ベテラン・管理職に対して学びの場を提供し、離職防止につながる事業を行い、中堅職が育つ県内保育環境の構築の土壌づくりを行う必要がある。

新規採用促進について、学生へのアプローチを重ねることで新規採用促進に向けた取り組みを行う。多くの園が直面している「人材の中堅層なき若手・ベテランの二極化状況」と「新規採用受難期」を打開できる事業を展開していかなければならない。そのためには、徹底した調査と対話が必要である。保育者資格を得ても他業種へ就職する学生がいる。学生が何を望み保育界に入ってくるか、あるいは、何を忌避して保育業界に就職しないのかをアンケート調査し、傾向をつかむ必要がある。さらに、直接学生の意見を聞いたり、パネルディスカッションなどのサンプルをベースとした対話を行うことを通して、深い意味での学生理解を行う必要がある。

またそれと同時に、学生が触れる現場が、実習に限定されることが多いことを鑑み、多様な園が存在し、個性的な保育や組織運営がされていることを周知し、それぞれの学生に合った園づくりができることを伝えていく必要があると考えるため、幼児教育に携わる魅力を学生に広く伝えるイベントも実施する。

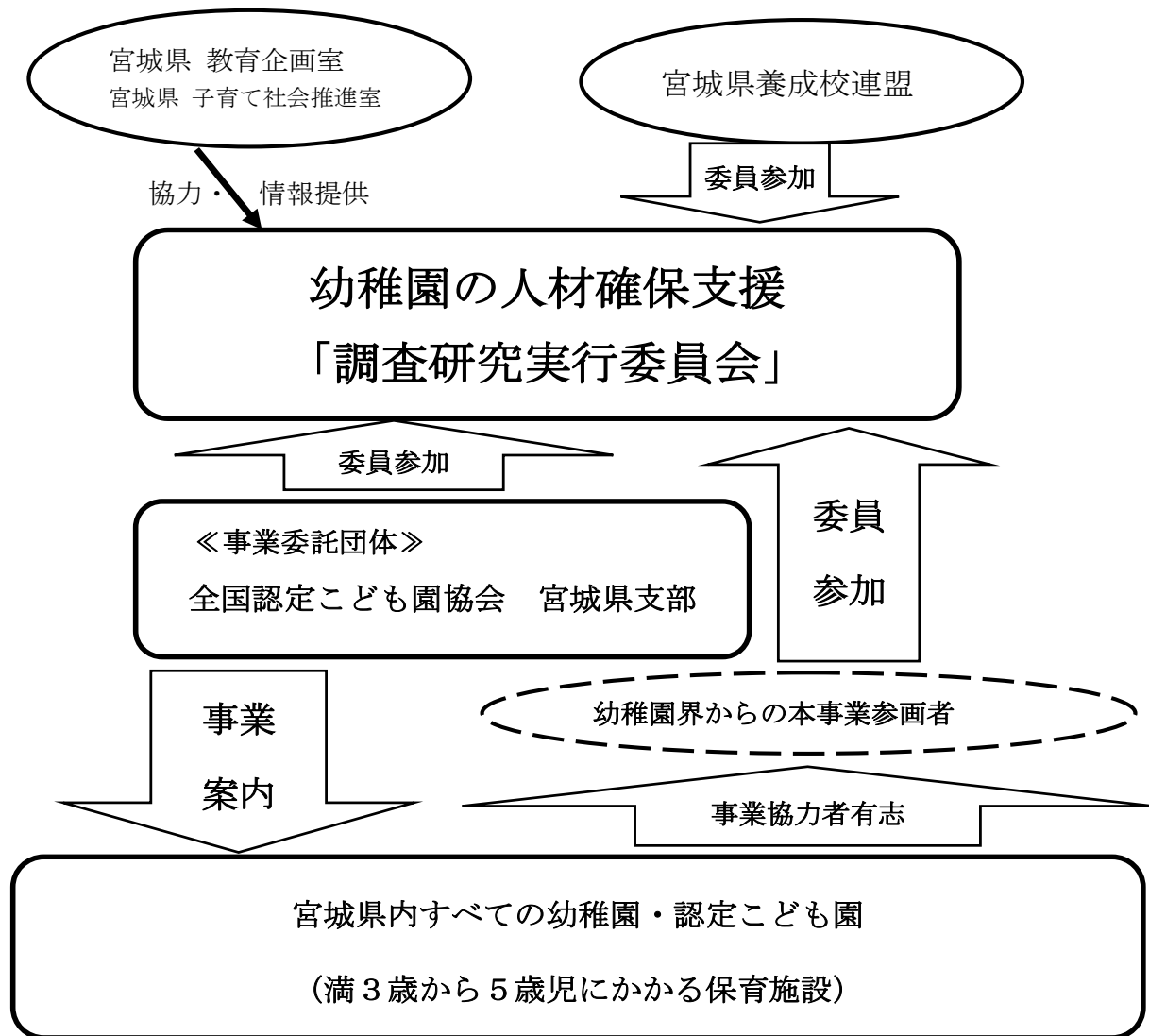
研究体制

具体的な調査研究体制				
調査研究実行委員会				
ふりがな 調査研究実行委員会 の代表者氏名		きくた ひであき 菊田 秀昭		
実行委員氏名	所属機関 所属・職名	具体的な役割分担	従事期間	エフォート (専従貢献度)
菊田 秀昭	全国認定こども園協会 宮城県支部事務局長	全事業の統括、運営管理、 経理処理、会議招集等	1年	(%) 9.37
小島 芳	全国認定こども園協会 宮城県支部 支部長	渉外担当 養成校・県と の折衝と委員会との連携	1年	4.25
木村 創	全国認定こども園協会 宮城県支部 副支部長	園渉外担当 幼稚園連合会 (宮城県・仙台市)との折衝	1年	4.25
磯部 裕子	宮城県養成校連盟	本事業アドバイザー 調査分析の指導と助言	1年	2.12
三浦 主博	宮城県養成校連盟	本事業アドバイザー 調査分析の指導と助言	1年	2.12
関 澄子	宮城県私立幼稚園連 合会 理事	幼稚園連合会での事業説明 等で本事業普及と事業相談	1年	1.03
庄子真由美	宮城県私立幼稚園連 合会 役員	幼稚園連合会での事業説明 等で本事業普及と事業相談	1年	1.03

B-2)組織図及び体制図

全国認定こども園協会 宮城県支部

幼稚園の人材確保支援事業「調査研究実行委員会」



2. 調査研究の内容報告

(1) 養成校へのヒヤリング調査

調査対象・期間

4月23日(火)	東北生活文化大学短期大学部	三浦先生
4月24日(水)	宮城学院女子大学	磯部先生
4月26日(金)	仙台青葉学院短期大学	鈴木先生
4月26日(金)	東北福祉大学	和田先生

調査方法 面談によるヒヤリング調査

調査項目

就職希望者について

- 長く勤めようと考えているか？ それとも短期で退職を考えているか？
- 学生さんはどのような園に就職を希望しているか？
- 中途希望者はどのような園に就職を希望しているか？
- 園に行って何を見ているか？
- 給与の目安はあるか？(下限)
- 園文化や保育内容による偏りはあるか？

離職理由

- 退職者の傾向はあるか？
- 離職理由
 - これがあれば継続できたということ
- 何年目くらいで辞めている印象があるか？

園への要請

- 就職のためにこれはやってほしい
- 就職のためにこの制度は整えてほしい
 - 研修体制
 - 処遇面
 - その他の仕組み
- 離職防止のためにこれはやってほしい
- 離職防止のためにこの制度は整えてほしい
 - 研修体制
 - 処遇面
 - その他の仕組み

結果概要

【実施内容】全国認定こども園協会宮城県支部理事の先生が養成校教員の方と2時間懇談し、聞き取り調査を行った。10個ほどの設問を用意し、各大学への聞き取りに差異が生じないように配慮した。実施した結果、実施主体であるこども園協会ですべての学生が就職への思いや、保育者がなぜ離職するか等の主な原因に大学側との齟齬があることがわかった。こども園協会は、学生は実習が厳しい等の勤務する園のイメージが悪いことや、きつい、汚い、賃金が安い等の、保育の仕事へのハードルの高さ等が原因となっているのではと考えていたが、養成校の教員の方との懇談では、むしろ学生の保育現場への期待は高く意欲も高い。しかし、実際実習等で訪れた園は、大学で習う「子ども主体の保育」になっていないことや、過剰な行事の準備への抵抗など、保育の仕事以外での阻害要因が大きかった。また、1年～2年で離職し、保育から離れる卒業生も同様で、人間関係での離職が多いこともわかった。理想に燃え、就職した職場で園長の無理解に出会っただけでなく、身近な先輩が保育を追究するのではなく、「こんなものだから」とあきらめてしまっていたりすることで「ここで働いても私は成長出来ない」と感じた時に離職を選んでしまうのではないかという意見も聞かれた。

反省及び評価

養成校の先生方4名に離職や保育者養成の現状について伺う機会を設けたことでわかったのは、幼稚園・こども園の現場で考える離職要因と、養成校の先生方の実感に大きな隔たりがあることであった。当初我々は「保育者の離職や卒業後の進路選択に迷いが生じる原因は低賃金や、勤務時間の長さ等にあるのではないか」と考えていた。しかし、聞き取りの結果、我々の考える離職理由とは大きく異なる結果を得たのである。もちろん賃金は低いよりも高い方がいいに決まっているし、早く帰れるなら早く帰った方がいいに決まっている。しかし、理想に燃える学生、保育者たちは「子どもにとって本当にいい保育が出来るなら、多少賃金が安くても、多少働く時間が長くてもいい」と考えているのではないかということであった。いい保育とは一言でいうと、現在国が推し進めている「子ども主体の保育」である。子ども主体の保育ではなく、子どもの意向や気持ちを無視した過剰な行事への準備や、遊びを通して保育としながら大人の思いを押し付けた日々の過ごし方等が阻害要因となり離職へと繋がっているとのことであった。また、人間関係による離職も確かに多いのも現実であることもわかってきた。我々現場の考える「離職」について、今一度根本から考え直さなければならないということが、この養成校との連携によってかなりはっきりしたことが成果である。一方でこの成果を現場にどう伝え、現場ごとに離職を減らす取り組みを行うことについて具体的にどのように周知していくかについては課題として残った。

アンケート調査

調査対象・期間 2019年12月11日～2020年2月28日

対象	回収数
学生	191
在職者	54
退職者	16

調査方法

- ・ ウェブアンケートフォームを使用
- ・ 選択制と自由記述併用
- ・ 無記名

調査項目

学生*必須

どちらの養成校に在学していますか？ *

何年生ですか？ *

養成校での勉強について教えてください *

その理由を教えてください

実習をされた方へ質問です。実習はいかがでしたか？ *

その理由を教えてください

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可） *

その理由を教えてください

就職したい職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可） *

その理由を教えてください

保育関連施設に就職したいと考えていますか？ *

その理由を教えてください

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可） *

保育現場に改善してほしいことを自由に書いてください

在職者向け*必須

現在どの施設に勤務していますか？ *

経験年数について *

養成校はどちらでしたか？ *

その理由を教えてください

保育をしていてやりがいがありますか？ *

その理由を教えてください

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可） *

その理由を教えてください

退職したいと本気で考えたことはありますか？ *

その理由を教えてください

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可） *

今の職場で改善してほしいことを自由に書いてください

退職者*必須

現在どの施設に勤務していますか？ *

何年目で退職されましたか？ *

養成校はどちらでしたか？ *

在職中の仕事について教えてください

その理由を教えてください

退職理由を正確に伝えましたか？ *

退職理由を正確に伝えなかった方はその理由を教えてください

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可） *

その理由を教えてください

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可） *

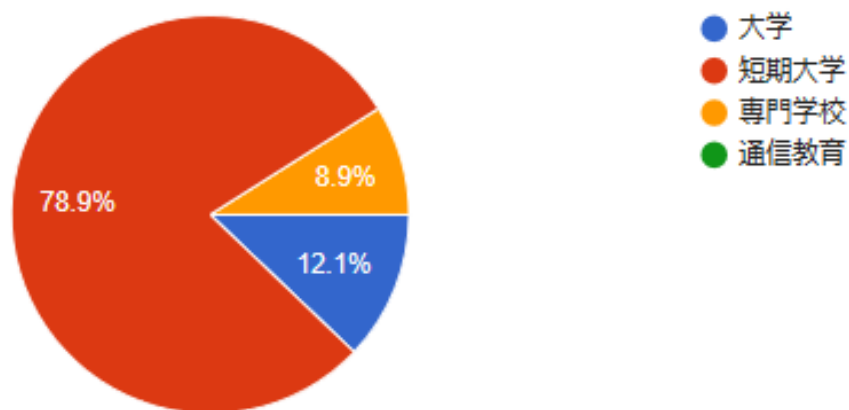
ご自分の経験から、現職の保育者、あるいは管理職などに対して、アドバイスや意見など、ご自由にお書きください

令和元年度 幼稚園の人材確保支援事業 アンケート結果 (学生向け)

<養成校>

どちらの養成校に在学していますか？

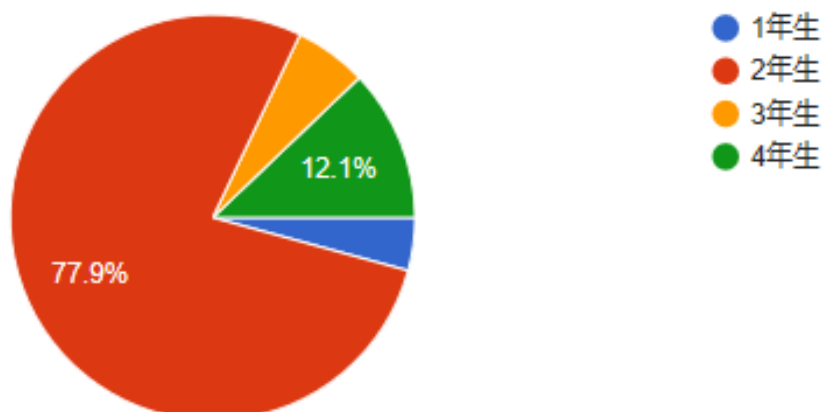
190 件の回答



<学年>

何年生ですか？

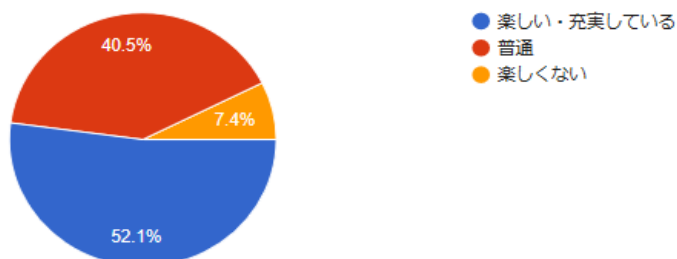
190 件の回答



<養成校での勉強について>

養成校での勉強について教えてください

190 件の回答



<楽しい・充実している>

- ・子どもの心理や成長について多くの知識が得られるため。
- ・楽しいから
- ・好きなことを学んでいるから
- ・先生等、環境が整っているから
- ・机上での勉強だけでなく、体を動かす科目や、製作をする科目があるのでとても充実しておる。
- ・友達と共に学べるから
- ・同級生と協力して作り上げるのがたのしい。また、製作や絵を描くなどの造形・表現を得意としているため、自分の長所を活かせるから。
- ・授業の内容が薄い。けど友達というのは楽しい
- ・友達と一緒に楽しく学んでいるから。
- ・保育をする上で大切なことが学べたから
- ・友達や気軽に話せる先生達がいるから
- ・友達と楽しく勉強できているから
- ・友達とワイワイしてるから
- ・いろんなアイデアが生まれる
- ・友達に会えるから。
- ・先生も周りの友達も面白いから
- ・同じ目的を持った仲間と勉強出来るため
- ・同い年の社会人入学が居ること。
- ・毎日楽しいから
- ・好きなことを学んでいるから
- ・色んな知識が増えるため
- ・楽しく授業が受けられているから
- ・毎回新しい発見があるから。
- ・何でも楽しくしてくれるクラスメイトがいるから
- ・専門性の高い内容を学んでいるから
- ・仲の良い友人がいるので
- ・自分の好きなことを学べるから
- ・主体的・能動的に学べる環境が整っているから
- ・保育者として必要な知識だけでなく、社会に出る人としてのマナーや基本的なことを厳しく教えてくださるから。また、OSTによって自らの学びたいものに専念できるから。
- ・学びたいことが学べているから
- ・先生達もおもしろいし楽しみながら授業を受けることができているから
- ・友達がたくさんいるから
- ・自分の好きな分野を勉強出来るから
- ・暇な時がないから
- ・同じ夢を持った友達がいるから

<楽しい・充実している>

- ・座学だけでなくグループワークやワールドカフェが取り入れられているため、他者との交流の機会が多く、いろいろな考えや体験談を知ることが出来る。
- ・友達との時間が楽しい
- ・専門の勉強を行うことで、自分の夢が少しずつ現実になってきていることを実感できているから。
- ・どっぷりと保育の沼にハマることができてとても充実しているから。
- ・将来に繋がる学びだから
- ・授業内容が豊富
- ・授業が分かりやすく、親身になってくれる先生が多いから
- ・友人と保育のことについて話をする機会が増えたから

<普通>

- ・普通に充実しているから
- ・普通です
- ・楽しい勉強もあるが、保育者になること、保育現場ってこうなんだという現実をみた。大学に入るまでと入ってからではイメージが異なる。
- ・周りの学生の意欲が思いの外低かったが、自分なりに勉強は出来てるから
- ・2・3年次は保育の授業が多く、忙しいながらも充実感があったが、4年次はほとんど授業がなく、充実していると思えないため。
- ・朝が早い
- ・より学びたいと思う講義が少ない
- ・可もなく不可もないため
- ・なんとなく
- ・必要なことを学んでいるだけだと考えるため。
- ・資格を取るために必要な勉強だから。
- ・先生によって差がある
- ・勉強は楽しいが友人が少ないため
- ・楽しい時と楽しくない時があるから。
- ・講義内容で伝えたいことが分からない先生が居て困っているから。
- ・新しいことがわかって面白いところもあり、本当に意味があるのかと言う内容もあるため
- ・覚えることが多く、大変なことも多いから
- ・楽しい授業もあれば普通だなんて思う授業がある
- ・楽しい授業と楽しくない授業の差が大きい
- ・人間関係がめんどくさい時があるから
- ・人間関係が気まずいから
- ・実技的な授業がほぼない
- ・レポートのための授業で、学びが少ないと感じることがある。
- ・必要あるかがわからない時がある

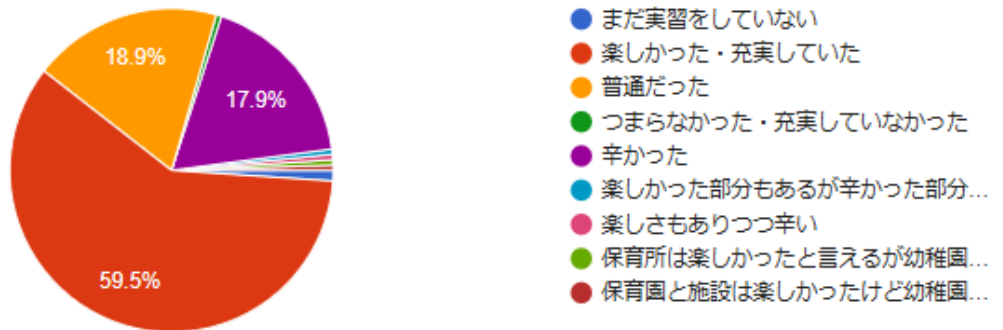
<楽しくない>

- ・授業が面白くないから
- ・わけわかんないから
- ・学校がすきじゃないから
- ・辛いから
- ・座学で授業と関係のない話をしている

<実習について>

実習をされた方へ質問です。実習はいかがでしたか？

190 件の回答



<楽しかった・充実していた>

- ・先生方子どもと触れ合うのが楽しかったから
- ・環境や人間関係がとてもよかったため。
- ・子供が可愛い、保育者のも質問に丁寧に優しく答えてくれたし授業で習ったことも実際に実習という体験をすることによってより深く学べた気がするから。
- ・凄さを改めて知ったなど、感じる事が沢山あったから
- ・“先生方の教育への取り組みの姿勢に心惹かれ、学ぶ点がとても多かったため。また、丁寧に対応してくださり、たくさんご指導をいただいたため。”
- ・わたしは楽しい実習を経験したが、そうでないひとの話も聞いているので、現場の方の雰囲気、取り組みなどにかかってくるのだと思う。
- ・実習園や地域の園で実習を通して子どもたちと関わりをもてたから
- ・子供と関わることが想像よりもずっと楽しかったから。尊敬出来る保育士に出逢えたから。
- ・日誌の文章量が膨大だったが、子どもたちと関わることが何より楽しく、学べたことも多かったから。
- ・日々学ぶ方が多くあり、とても充実していた。
- ・実習担当の方がとても良くしてくださり、子ども達と温もりを感じ合いながら学びを深めることが出来ました
- ・子どもたちとたくさん関わることができたから
- ・子どもが可愛かったし、保育者からもアドバイスを頂いたり、充実していると感じたから
- ・辛くて大変だったけど、その分嬉しいことや楽しいことも沢山あったから地元ということもあり出身園だったり、職員がほぼ知り合いだったから
- ・自分の力になったことがたくさんあるから
- ・色々なことを学べたし、保育者をめざして良かったなと思えたから
- ・勉強になった
- ・好きな職に触れられるから
- ・子ども達の生活の場をよく学べた。
- ・たくさんの指導と子どもたちの素敵な姿を見ることが出来たから。
- ・子どもも先生方も優しくかったから
- ・辛い時期もあったがその分学びになることも多かった大変なこともあったが、子どもと関わることに楽しさを感じたため。
- ・想像とは違う子どもの様子などに対して、先生方の寄り添う姿を見ることでより学びが深まりました。
- ・子どもと関わって楽しかった
- ・机上では学べないことが沢山あったから
- ・"子どもたちのかわいさを身に染みて感じた。

<楽しかった・充実していた>

- ・いい先生と、かわいい子供に巡り会えたから
- ・保育所実習の時には、先生方が実習生や子どもの前で他の先生の好き嫌いについて話されていて、そのような現状を女の職場だからと言う一言で片付けられている状況に唖然とし疑問しかありましたが、幼稚園実習の時には尊敬できる先生方にたくさん相談にのっていただき、さらに助言もいただきとても学びのある実習になったからです。
- ・"保育者の方が優しく接してくれ、適切なアドバイスをたくさんしてもらいました。また、子どもからも学ぶことがありとても充実していたからです。"
- ・大変なことや眠れないこともあったけど、子どもたちが可愛く、楽しく頑張れたから
- ・子供たちが可愛くて先生方も楽しかったから
- ・いい勉強になったから
- ・学べることが多く充実した実習だったから
- ・幼稚園は楽しかった
- ・自分のいい経験になった
- ・とても雰囲気の良い園で先生方も素敵だった
- ・実際に子どもと関わることで、身近に子どもの成長を感じ、保育者の姿から、子どもとの関わり方や声のかけ方を具体的に学ぶことが出来たため。
- ・子供がかわいかったから
- ・子どもたちや先生方からたくさんのご指導をいただき、現場での経験を踏んだことで成長できたと感じたから。
- ・子どもたちが可愛く、やりがいがあったから
- ・達成感があったから
- ・授業では学ぶことができなかったことが学べたため
- ・実習先の先生方も優しく、丁寧に教えてくださったから
- ・学校の授業だけでは知らないことをすることがたくさんできたから
- ・子どもと関わり触れ合うことが楽しかった

<普通だった>

- ・勉強になった部分もあれば、これを幼児教育と言うのかと疑問に思う現場もあったから
- ・辛いことも楽しいこともあった
- ・"充実してたわけでもなくつらかった訳でもない。
- ・幼稚園の先生によって変わるみたい。

<辛かった>

- ・環境が合わない
- ・女の世界だなと思ったし、先生方に挨拶してもかえしてくれなかったり、精神的に追い詰められる事が多かったから
- ・指導案の作成や全日実習が大変だった
- ・終わるまでずっと神経を張り詰めていたから
- ・厳しい言葉を頂くこともあったし、指導案や日誌で寝られなかった
- ・保育者との人間関係が苦しかった
- ・無理難題を押し付けられることが多かった
- ・書き物が多く睡眠時間が削られるため、子どもとの関わりに集中できない。

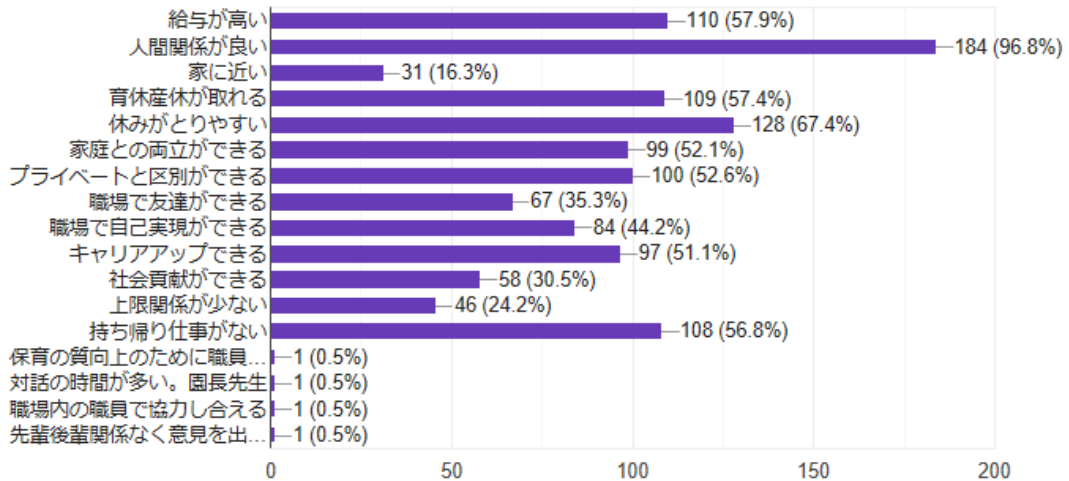
<その他>

- ・自分の力不足
- ・実習を通して何を学んで欲しかったのか、何を大切にしているのか分からなかった。なぜ今言う？誰のための実習？させていただいていることには感謝ですが、現場という立場から上目線過ぎると感じた。

<良い職場とはどのような職場？>

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可）

190 件の回答



<なぜそう思いますか？（自由記述）>

- ・正直お金は後回し。人間環境がよく休みがとりやすければいいと思う。
- ・自分の目標とする保育士になるためだから
- ・楽しく充実した仕事をする権利があるため。
- ・保育者が日々人間関係に困っていたら、子供の最前の利益を考えた保育ができないから。そして、自分の保育についての知識をさらに伸ばし、よりよい保育をするため続けやすい。
- ・給与は関係ないという人もいますが、大変な仕事であるし、お金はある程度もらえなければ続けられないと思う。
- ・自分のやりたいことをしたいから
- ・給与、育休産休、休みの取りやすさは職場の問題だと思ったから。
- ・全部大事だと考えるから
- ・良い人間関係であればやる気も高まるから
- ・プライベートなどが守られていないと働きづらいから
- ・価値観は人それぞれであるため。
- ・職場での職員関係や、女性職員だけでなく男性職員の育休も大切だと思うから。また、保育関係の職員関係や職場環境などでよくニュースで取り上げられ、課題が多くあると思うから。
- ・給与はもちろん、人間関係がとても大事。また、仕事とプライベートの区別はしっかりしている方が良い。
- ・自分の時間が大切
- ・どこで働くにしても重要な事だと思いますが、保育士だからこそとても重要な事だと思います。人の一生を背負う仕事だからこそ待遇は他の職業より良くなければ成手が少ないままだと感じます。
- ・大事だと思うから
- ・自分にとって働きやすい職場が良い職場だと思うから
- ・他業種で当たり前の待遇を保育者も受ける権利があると思うため。
- ・人間関係が良いと職場の雰囲気も良くなると思うから
- ・自分が一番大事だと思うから、自分が生活を送っていて支障をきたさない職場ではないといけなと思う
- ・プライベートの時間で休暇は必要
- ・人間関係がいいことがキャリアアップに繋がると思うから
- ・人間関係は大事だから
- ・お互いが自分の考えを言い合え、居心地の良い職場が最適だから。
- ・自分が働きやすいと思うから。

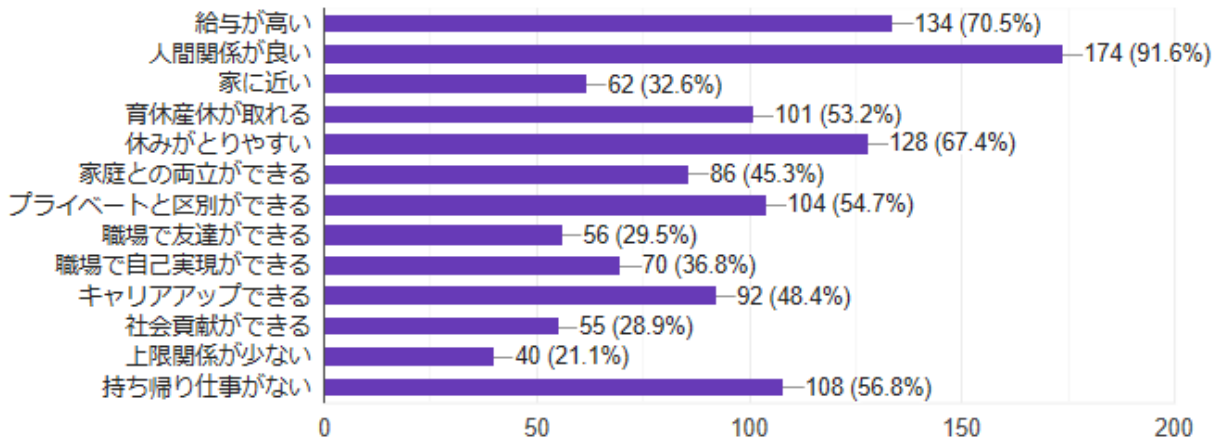
- ・自分の時間も大切だと思うから
- ・いくら職場でのキャリアアップが出来ても人間関係が良くないと続けていけないので人間関係が一番大事だと思う
- ・現在は子どもを預かるだけではないことを国は理解して欲しい。幼保無償化より保育者の給料の底上げをまずはやるべき。
- ・全て大事！！
- ・職業に生きがいを見つけることも素晴らしいが生きていく上でストレスの少なさや給料もだいじだから
- ・定年まで働きたいため
- ・仕事とプライベートの両方が楽しいと思えるバランスを撮るためにはこの点が必要だと思った。
- ・仕事をする上で人間関係が一番大切だと思うから。
- ・楽しく仕事できることが大事だと思うから
- ・最優先に人間関係の良いところが良い職場であると思うから。
- ・逆に他に何があるの？
- ・人間関係と給料が大切だと思ったので
- ・働く上で大切なことだから
- ・保育園や幼稚園はブラック企業だと思ってるので、これくらいはしたほうがいいかと思ったから。
- ・職場の環境が悪いところでは働きたくないから
- ・給与が高くなくても上記のやうな条件を満たしていらずと働きたいと思うから
- ・自分自身を向上させるために大切なことだから
- ・仕事に一生懸命打ち込むためには、プライベートの充実も必須だと思いますし、どんなに好きな仕事でも、人間関係に悩めば好きなものも嫌いになりかねないと思ったからです。
- ・自分のための時間もなければ働く意味がないし頑張ってきた意味もなくなるから
- ・職場の仲間たちと学び会えることがよい職場であるとおもうからです。
- ・実習をしてみて、人間関係は大切だと思ったし、悩める時に相談しやすい人も必要だと感じたから
- ・"仕事内容に沿った給料が良い
- ・人間関係が一番大事だと思う
- ・できれば持ち帰り仕事がない方がプライベートが充実できる"
- ・出来るだけなんでもいい方がいいから
- ・とりあえず人間関係が大事だと思う
- ・職場でいちばん大切なのは働き続けたいと思える場所であることだと思うから
- ・自分が心から楽しいと思えることが良い職場だと思ったから
- ・お金より人だと思うから
- ・人間関係が一番大切だと思うから
- ・休みがとりやすく働きやすい会社で働きたいから
- ・福利厚生は大切
- ・人間関係が大事だから
- ・子どもは保育者の姿を見て学ぶ機会も多いため、人間関係が良く、連携のとれた園は良い保育を行っているに違いないと考えた。
- ・先生が楽しんでいる笑顔な園の方が子どもにとってもいい環境だと思う実習や園見学を通して、このような職場が良い職場だと感じたから。
- ・給料が高いのは生活する上で大切ですが、大事にしたいところはそこではなく、自分のしたいと思った保育を行えるかどうかだから。それに対して共感してくださり共に学んで下さる園長や職員がおり、より良い保育を行えるかそのためになら人間関係が悪くていい。人間関係がいい＝仲良し、本音を言えない。方がどうかと考えるから
- ・このような環境で働きたいと思ったから
- ・退職の原因が上記の事項が満たされていないことが多いと感じるため働いていく上で人間関係が良ければどんなことも我慢できるし、楽しんで仕事に取り組むことができると思うから

- ・給料が高くて勤務する環境が整っていなければ過酷なものになるから
- ・良い伝統は引き継ぎ、変えるべきところは新しくしていくべきだと思う。
- ・自分に合った場所の方が長く続けることができるから
- ・人間関係で潰される人が多い
- ・当たり前のことだから。
- ・働く意欲が湧くから
- ・保育者といっても、仕事は仕事、プライベートはプライベートの境をきちんとけじめをつけて働きたい。保育の仕事が好きで選んでいるので、仕事としてはきちんとやる事はやる。ですが、反面、仕事とは自分の人生を生きていく為の一つの手段です。なので、プライベートにまで仕事に侵食されては、仕事の為の人生になってしまう。それでは、何の為の自分の人生か。プライベートも充実させられてこそ、良い仕事、良い保育ができるものであると考えます。

<就職したい職場について>

就職したい職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可）

190件の回答



<理由（自由記述）>

- ・働きやすさが1番だと思うから
- ・充実した仕事を楽しく行いたいため。
- ・出身園で、実習にも行ってそう感じたから続ける力になる
- ・"先生方の話し合いの時間が多く取られていて、一人担任でありながら、全体がチームとなって教育を行なっている印象がある。また、実習で指導してくださった、素晴らしい先輩がいるので、力をつけ行けると思っている。"
- ・自分のやりたいことをしたいから
- ・安定した給与、家庭との両立、プライベートの確保が出来ない職場には行きたくないと考えるため
- ・良い人間関係であればやる気も高まるから
- ・働く人を大切にす職場で働きたいから
- ・将来を考えたとき、譲れないことだから。
- ・自分がストレスを抱えずらい環境で保育を行えることが1番だと思ったため、上記の項目を選択した。
- ・人間関係がうまくいかないと、自分自身も仕事へのやりがいや楽しさを見つけられないと思うから。給与も休みも大切。

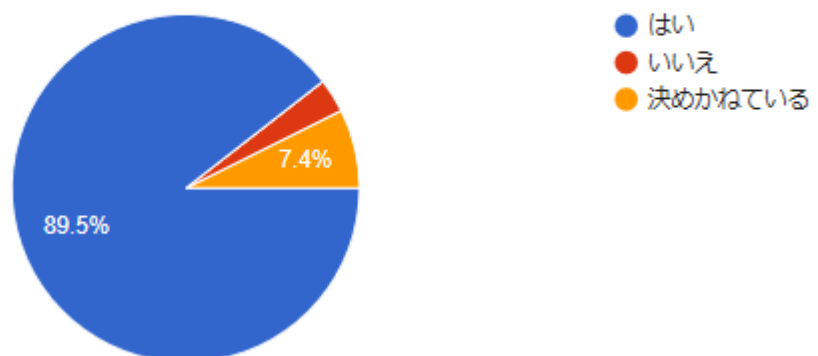
- ・ある程度妥協しなければいけないと思いますが、理想に近くなければ続かないと思います。
- ・大事だと思うから
- ・働きやすい環境がいいから
- ・自分への負担を減らし、プライベートも充実させたいため。
- ・長く働きたいから
- ・人間関係がよく、キャリアアップできるところがいいから。
- ・人間関係が大事だから
- ・お互いが自分の考えを言い合え、より良い保育を行っていききたいから。
- ・自分が成長出来るから。
- ・自分の健康のため
- ・仕事とプライベートを完全に分けたいので持ち帰り仕事はしたくない
- ・すべて大事
- ・良い職場と思えるところで働きたいから
- ・環境が大切なため
- ・最低限この程度であってほしい。
- ・自分が考える良い職場が家の近くだとなおさら良いと思ったから。
- ・体の負担になりすぎないのがいいと思うから
- ・人間関係が良かったり、自己表現ができれば自分らしくいれて、休みが取れやすければ、プライベートと仕事を分けて充実した人生をおくれると思うから。
- ・逆にこの条件でしたくない理由何？
- ・家に近いとすぐに出勤できると思ったので
- ・自分の理想と合っていないと働きづらいため
- ・こどもが産まれた時、仕事が終わっても持ち帰ってまで仕事はしたくないから。
働きやすさを求めた結果だから。
- ・大変でも職場が良ければなんとかやれそうだから
- ・安定した生活を送るために1番大切なことは人間関係の充実とプライベートと仕事の両立がしやすいことだと思うから
- ・逆になんでチェックした以外が大切だと学生が考えるのか知りたい
- ・プライベートも充実させたいし、職員の一人として協働していくためには人間関係が良くないとやっていけないと思ったから。
- ・条件がいいから
- ・よい職場と同様に、学ぶことができる職場に就きたいとおもうからです。
- ・働く上で人間関係が良くないと、情報交換や協力し合うことが難しく、保育しにくいと思ったから
- ・人間関係が良くないと仕事をするのが辛いと思うから
- ・人間関係がよければ給料が低くても楽しく仕事できそう
- ・出来るだけ環境がいい方がいいから
- ・人間関係がすごい大事だから
- ・給料も大事ですが職場の人間関係と休みをきちんと取れることが大切だからです
- ・自分が就職していてやりがいがあるなと感じることが出来るのが良い職場だと感じたから
- ・働きやすいと思うから
- ・給与が高いところがいいです
- ・楽しく仕事をしたいことと、1年目ということもあり疑問点を気軽に質問出来る職場が良いと考えたため。
- ・実習にあって、感じた
- ・このような職場が自分にとっての理想であるから。
- ・給料が高いのは生活する上で大切ですが、大事にしたいところはそこではなく、自分のしたいと思った保育を行えるかどうかだから。それに対して共感してくださり共に学んで下さる園長や職員がおり、より良い保育を行えるかそのためになら人間関係が悪くていい。人間関係がいい＝仲良し、本音を言えない。方がどうかと考えるから
- ・このような環境であれば働きやすく仕事を全う出来ると思うから

- ・給料が高いのは生活する上で大切ですが、大事にしたいところはそこではなく、自分のしたいと思った保育を行えるかどうかだから。それに対して共感してくださり共に学んで下さる園長や職員がおり、より良い保育を行えるかそのためになら人間関係が悪くていい。人間関係がいい＝仲良し、本音を言えない。方がどうかと考えるから
- ・このような環境であれば働きやすく仕事を全う出来ると思うから
- ・働いていく上で人間関係が良ければどんなことも我慢できるし、楽しんで仕事に取り組むことができると思うから
- ・給料が高くて勤務する環境が整っていなければ過酷なものになるから
- ・自分に合った場所の方が長く続けることができるから
- ・人間関係がいい事でモチベーションがあがる
- ・まず人間関係が悪いとやっていける自信がない。家に持ち帰ってまでやらないといけないことをするのは違うと思う。サービス残業。
- ・魅力的だから
- ・良い職場とは？の問いで答えた事が全ての条件が揃っている為。

<就職について>

保育関連施設に就職したいと考えていますか？

190件の回答



<はい>

- ・将来の目標だから
- ・もう決まった
- ・資格を持つから
- ・昔からの夢だったから。
- ・気づいたらこうなった
- ・実習にて、楽しさを見い出せたから
- ・大学に入ってまで資格を取ったのだから、一度は保育の仕事に携わった方がいいのかなと思ったから。
- ・子どもが好きで、造形・表現を得意としているため、自分が好きなことを行えるから。
- ・子どもと関わるのが楽しいから。
- ・保育士として社会に出たいと以前から考えていたので。
- ・せっかく保育士を目指して勉強してきたので、それを生かして働きたい。子どもと関わる仕事がしたい。
- ・養成校に通ってるから
- ・昔からの夢だったから
- ・小さい頃の夢だから
- ・学校行ったから
- ・保育士になりたいから

<はい>

- ・自分の強みを活かせるから。
- ・子どもがかわいから
- ・保育が好きだから
- ・子どもが好きなため。
- ・子どもの発達過程を支援したいから。
- ・昔からの夢だから
- ・そのために大学に入ったから
- ・保育士資格取得のため
- ・ずっと保育関連施設に就職したいと考えてきたから。
- ・保育関係の短大にいるので
- ・子どもに関わる仕事に就きたいため
- ・もともと保育関連施設での仕事をしたかったから。
- ・保育職を学び、より子供たちと関わりたいと思ったから
- ・保育の面白さをもっと知りたいから
- ・子どもが好き。保育が好き。保護者の支えになりたいと思うから。
- ・2年間耐えたから
- ・もう就職が決まっているから
- ・保育士が夢だったから
- ・保育者になりたいから
- ・資格を取るため
- ・自分の夢が保育関連だから
- ・夢だったから
- ・保育士として働きたいから
- ・昔からの夢だから
- ・実習を通して、より一層保育士を目指したい気持ちが強まった。
- ・子どもが好きだから
- ・幼いころからの夢であり、ここまでその夢に向かって頑張ってきたから。
- ・保育関連施設で働きたいから
- ・勉強してきた中でやっぱりこの職に就きたいと感じたから
- ・子供が好きなのはもちろんのこと、男性保育士の立場をもっと良いものにしたいから
- ・やりがいのある仕事だと思うし、自分自身が1番輝ける職だと思うから。
- ・小さい頃からの夢だったから
- ・保育士を目指しているから

<決めかねている>

- ・保育者としての自信がなくなったから
- ・給料が低いため
- ・まだハッキリと決まらない
- ・就職する前から、自分が病んでしまうと思ったら、辛いと思ったらすぐ辞めて下さいと教えられる業界に不安しかない。

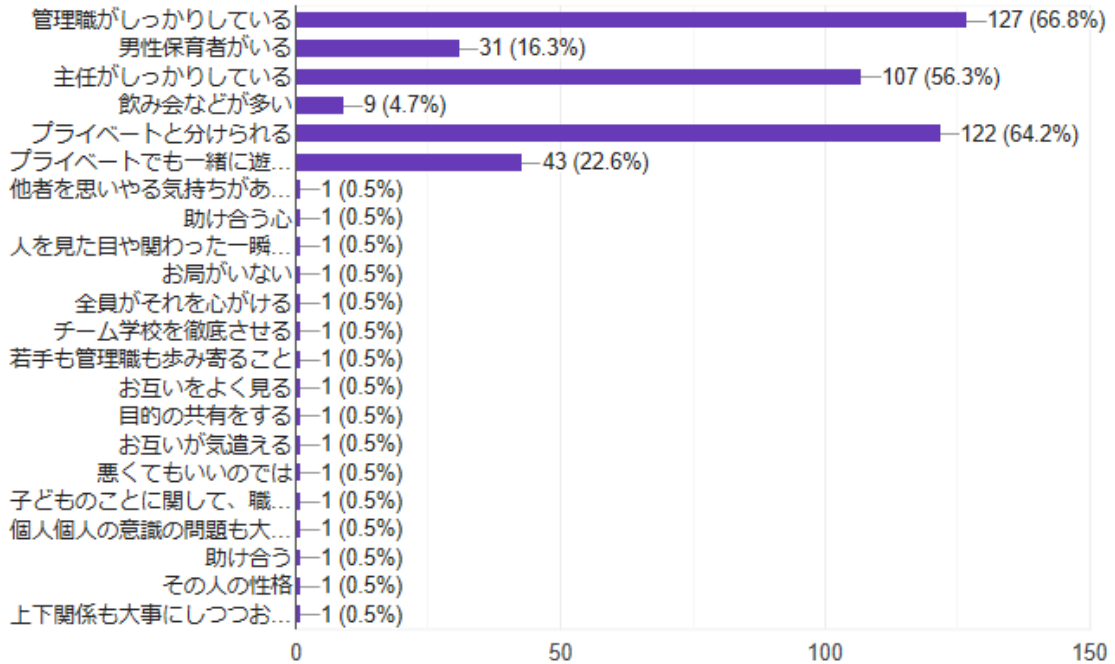
<いいえ>

- ・他にやりたいことがあったから
- ・保育業界の仕事量に対する給与が少なすぎるため。
- ・一般企業に内定を貰ったから。
- ・保育者になりたいけど大変さも知ったから

<人間関係について>

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可）

190件の回答



<保育現場に改善してほしいこと（自由記述）>

- ・お金
- ・ギスギスした関係の無い保育園にして欲しい
- ・とても素晴らしい職業であるため、特にありません。
- ・とにかく給与をあげて欲しい。やりがいでだけでは継続が厳しいものがある。
- ・もう少し賃金を高くしてほしい。
- ・もっと向上心をもってやってほしい
- ・一つの職場のなかでキャリアの長い方々、上の方々がどれだけ柔軟かによると思う。またそれに若手もそれに応えるだけの対応、態度でいかなければならないと考える。
- ・一人ひとりの仕事量
- ・一般企業と変わらない給与。むしろ資格職なのだからもう少し上げるべき。
- ・"園長や主任の先生に、クラス担任などほかの保育士の保育の様子が伝わっておらず、園全体での保育の方向性があやふやになり雰囲気が悪くならないようにしてほしい。
- ・給料が安く、休みがとりにくいところが多いと聞くので、制度を整えて欲しい。"
- ・休みを取りやすくして欲しい
- ・休憩を確保する 休みを増やす 子供が好きならできるで片付けない
- ・休日などがしっかり取れる事かと思う
- ・給与、賞与。
- ・給与、賞与の底上げ、休暇の取りやすい環境作りをしてほしいです
- ・給与、賞与を高くして欲しいこと
- ・給与！給与！給与！給与！給与！給与！給与！給与！モンペ！モンペ！モンペ！モンペ！新人いびり！！！！！！！！！！
- ・給与。
- ・給与アップ プライベートとの区別がつく 休みが取れる

- ・給与が高いことは勿論、人間関係の良さも就職先の決め手であることは言うまでもありません。公立保育園が次々と私立に変わりゆく中、この事を徹底しなければ、格差は開いていく一方ですし、保育士の離職率はあがるのでは無いかと考えます。国レベルでの改善が求められていると考えています。
- ・給与が低い
- ・給与と人間関係と環境だと思います
- ・給与の改善と休暇
- ・給与を上げ、自分の取りたいタイミングで休みなどを取れるようにしてほしい
- ・給与を上げてほしい
- ・給与を上げる、保育者同士の人間関係を良くする
- ・給与面
- ・給与面 仕事量 人間関係
- ・給料
- ・給料
- ・給料
- ・給料
- ・給料
- ・給料、人間性
- ・給料。
- ・給料が安い
- ・給料が低いので高くしてください
- ・給料と人間関係
- ・給料の改善と保育士の待遇の改善
- ・給料の低さ、持ち帰りしごとの多さ、若いからと何でもやらせるエイジハラスメント。
- ・給料の底上げ。
- ・給料や女社会などのいじめをなくすこと
- ・給料をあげてほしい
- ・給料をアップしてほしい
- ・給料をもっと高くして、人材を増やさないとよりよい保育は行えないと思います。
- ・給料を高くしてほしい
- ・"給料を高くして欲しい。
- ・仕事の持ち帰りは厳禁。
- ・サービス残業も厳禁。
- ・ニュースになるような問題行動を起こす保育者をなくす。"
- ・給料を上げてほしい
- ・給料を上げてほしいです
- ・給料を上げて欲しい
- ・給料を上げる、1年目でもやりやすい環境を作る
- ・給料高くして欲しい
- ・金金金金金
- ・公務員(社員)だからといって掃除などをパートに押しつけないでほしい
- ・残業を減らしてほしい
- ・仕事内容の負担と給料が矛盾しているので、改善してほしい！
- ・子供たちの前で他の職員や親の悪口を言うのをやめるところから始めましょう。
- ・子供の安全
- ・"事務、雑務の多さを改善してほしい
- ・保育事務の方の採用枠を増やすことで保育士の負担が軽減すると思う"
- ・質
- ・とにかくわるいところはわるい
- ・やってるように言葉では見せかけてやってないそれをしっかり調査してほしい。特に幼稚園はやらせがひどいように感じる。養成校での取り組みも適当に資格取らせてるところ多すぎる。

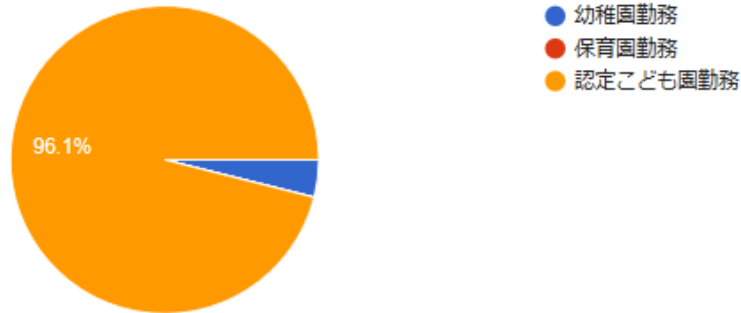
- ・女性の職場だからねえ。の一言で状況を放置しないでいただきたい。なんでもありの保育になっていないか、確認してみてください。忙しいからって子どもに虐待まがいのことをしないでください。
- ・上下関係からの差別をなくして欲しいしパワハラ紛いな子供たちの前で使えるの？って感じの職員間の言葉遣いは良くないとおもう、給料形態も。
- ・新任でも意見できる職場環境がほしいとおもいます。新しく学んできた新任から上司への意見は、保育を新しくするための大切な意見だとおもうからです。
- ・人と関わる中で、合う合わないはあると思うが表に出さずに仕事をして欲しいと思う。
- ・人間関係
- ・人間関係
- ・ベテランの先生たちとの捉え方の違い"
- ・人間関係、給与
- ・人間関係、仕事量
- ・人間関係が良く休みが取れる現場にして欲しい
- ・人間関係でストレスのない職場が多くなるようにしてほしいです
- ・人間関係でのトラブルが多いことがあるため、それらを解決できる策があればいいと思いました。
- ・人間関係のごたごたをなくして欲しい
- ・人間関係をよくしていただきたい
- ・"人間関係をよくしてほしい。
- ・持ち帰り仕事をなくしてほしい。"
- ・男女差別をなくす、持ち帰りしごとを少なくする
- ・電子化
- ・特になし。
- ・保育者が働きやすい環境作り
- ・保育者主体の保育ではなく、子ども主体の保育を全ての保育現場で行っていききたい。
- ・良いに越したことはないが、よくなきゃいけない理由がわからない。仲良しこよして仕事をしたいわけではないから。
- ・連絡帳などの事務作業を電子化を進めて欲しい
- ・労働と賃金が見合っていないことが多いこと
- ・開放的な空間にしてほしい
- ・電子化にし、保育者の負担を減らす
- ・お給料もう少しあげてほしいです。とてもいいお仕事なのに見返りが少なすぎる気がします
- ・男性保育士への偏見や実習生への対応をもう少し考えてなおしてほしい"書き物や事務仕事をもっと簡単にできるようにしてほしい。
- ・新任の意見も取り入れてほしい。"
- ・新人保育士に対していじりがある、子どもに対して接する時に差がある
- ・新人が出来なくて当たり前なことはちゃんと教えてほしい
- ・まずは働きやすい環境作りをしてほしい。
- ・あれもこれも求めすぎないでほしい、余裕がないと子どもにも影響があるし、自分自身も壊れてしまう。そもそも規定されている子どもと保育士の数は、何を基準にきめられたのか、全然目がいきとどかないと思う。
- ・"仕事を仕事内で済ませられる業務内容、労務規定にしてほしい。人間関係に不適合な方がいらしたら、様子見や、見て見ぬ振りをせず、早急に対処してほしい。その対処が早ければ早いほど、不用意に病んでしまう人間を増やさなくて済む。そうする事で、職場の環境も変わってくると考える。保育士の立場をもっと守られる環境にしてほしい。
- ・預ける側と預けられる側、両方が存在してお互い様で成立するものだと思う。"

令和元年度 幼稚園の人材確保支援事業 アンケート結果 (在職者向け)

<勤務施設>

現在どの施設に勤務していますか？

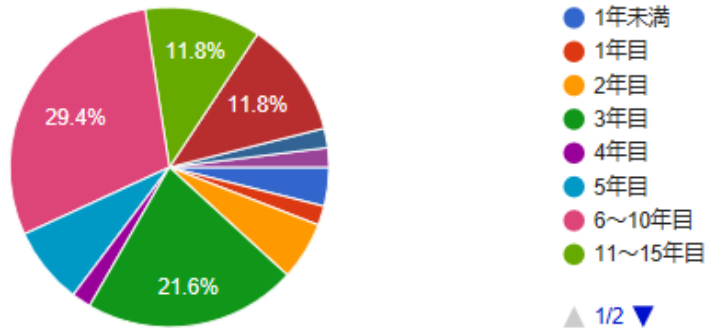
51件の回答



<経験年数>

経験年数について

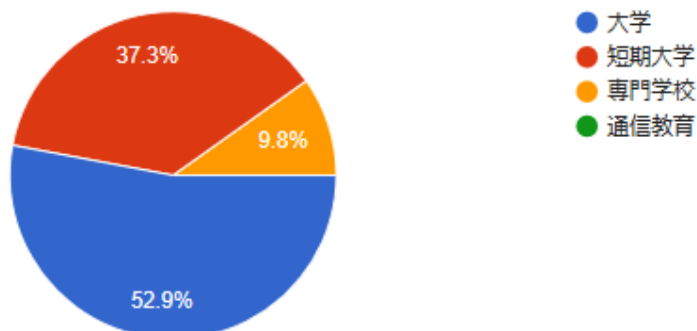
51件の回答



<養成校>

養成校はどちらでしたか？

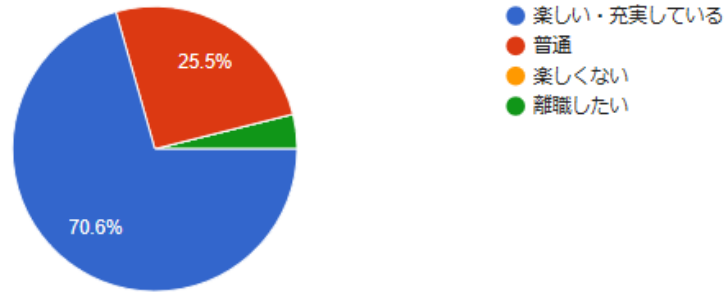
51件の回答



<現在の仕事について>

現在の仕事について教えてください

51件の回答



<楽しい・充実している>

- ・やりがいを感じる
- ・保育自体が楽しい。保育者間の関係もよく職場の居心地は良い方だと思う
- ・試行錯誤しながらも自分で考えて毎日を作り出すことに手ごたえを感じている。
- ・子どもと毎日一緒に考えたり遊んだりしながら色々な発見や学びが自分自身にもあるから。
- ・子供とともに成長できるから
- ・やりがいを感じているから
- ・子ども達と過ごしていると、たいいてい事は楽しく感じます。自分の生活とのバランスもとれていて充実しています。
- ・子どもの成長を見るのが楽しいから

<普通>

- ・保育の仕事は充実しているが、リーダーとしての仕事に力不足を感じるため。
- ・楽しいことばかりではなく、大変なこともあるため。
- ・"普段の保育だけでなくバス添乗もしているの。"
- ・楽しいと思うこともあれば、辛いと思うこともあるから
- ・楽しいと感じるとき、辛いと感じると半々くらいだから。
- ・思った通りの保育ができない
- ・良いところもありそうでないところもある。
- ・子どもの成長に一喜一憂しながら仕事ができるのは有難い。
- ・同僚との関係性や、子どもとの関わりで、自分ができていないことに向き合うことに対し、マイナスな気持ちを持ってしまうことがあるため。

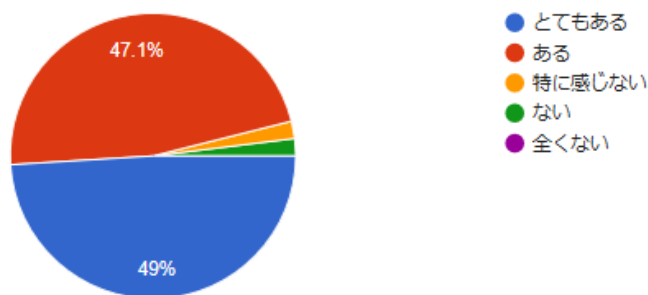
<楽しくない・離職したい>

- ・気力も体力も使う仕事だけど、給料が安い。

<保育をしているのやりがいについて>

保育をしていてやりがいがありますか？

51件の回答



<とてもある>

- ・子どもの成長を身近に感じることが出来る嬉しい。また、先輩保育者の保育を見たり話を聞くことで奥深さを感じられ、自分自身も保育についてもっと学びたいと思える。
- ・悩むことは多いが、子どもたちの成長や笑顔が励みになる
- ・園の方針と自分の保育感が合っているから
- ・成長していく姿を近くで見守ることができるから
- ・成長していく姿を近くで見守ることができるから
- ・人生でもっとも大切な幼児教育に携わっているから。
- ・子どもの成長がよく見えるから
- ・自分がしている保育や園の保育が子どもや保護者、地域の支えや役に立っているとおもえてる。
- ・遊びの力が生きる学びになっているのを感じるから
- ・日々子どもたちの成長が見られるから
- ・子どもたちの力を信じ、主体性を大切に作る保育の中、子どもたちの力と成長を目の当たりにすることができるから日々子ども達の成長を保護者と一緒に感じることができるから。
- ・こどもの成長に関われる、こどもの成長を感じた時、達成感を味わっているから
- ・"雇用側との求められる私と、やりたい私のズレがあるからかもしれない。また、スキルアップ等の研修斡旋が、パートにはない。"
- ・自分の仕事が子どもや保護者の役に立っていると思える

<ある>

- ・人を相手にしているからです。
- ・その人にとって大切な子ども時代に関われていること。子どもにとって初めての経験や気持ちと一緒に感じ、成長に自分に関わることができるから。
- ・子どものことを、保護者と共に成長を感じられたという実感があるときは嬉しいから。
- ・子供たちと何かに取り組む達成感を感じるから

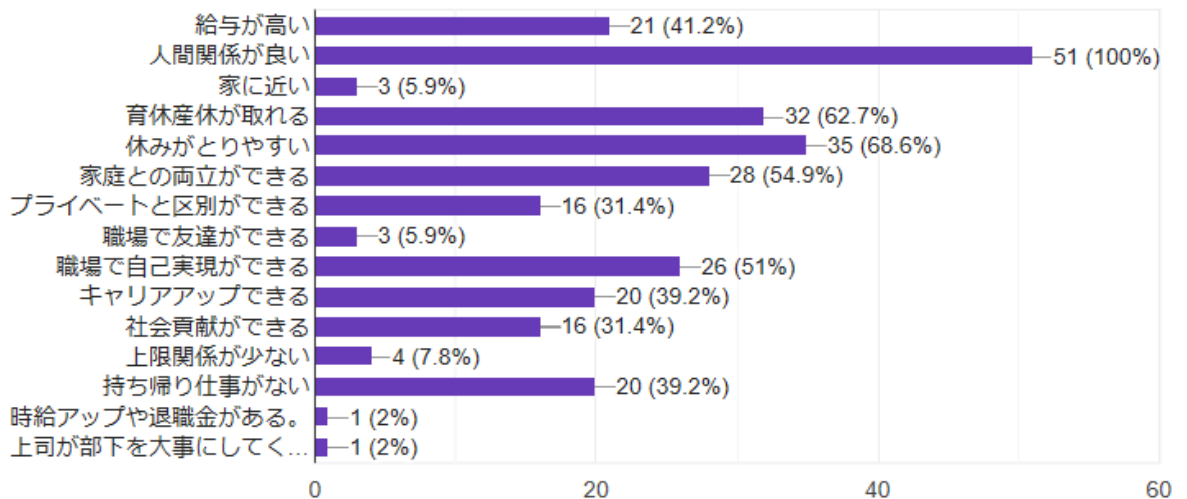
<ない>

記述回答なし

<良い職場とはどのような職場？>

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可）

51件の回答



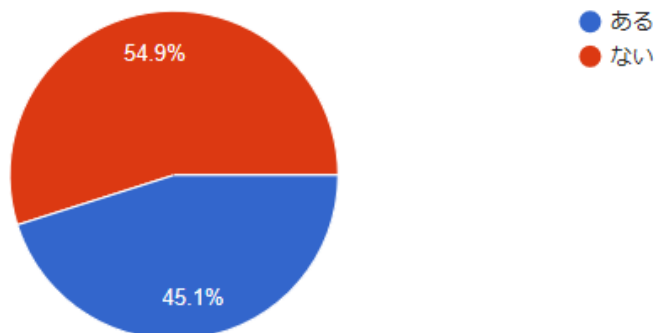
<なぜそう思いますか？（理由）>

- ・職場の人間関係が良いのはありがたいと思っている。
- ・人間関係がいいと、ある程度の苦労は乗り越えられるから。
- ・職場とプライベートが分けられていることは、働きやすさとして大切だと思う。
- ・仕事に対しては、やりがいが一番に考えていますが、仕事の特性上、家庭を持ち、子育てをすることが仕事にも十分に生かしていけると思いますし、保護者にも子どもとの時間を大切にと伝えている立場でもあるので、どの職員も安心して子どもを育てながら仕事ができるような職場であることも、大切だと思います。
- ・自分の経験をいかしつつ新しいことにも挑戦できることによって充実感を得ることができる。
- ・言いたいことが言えたり、結婚したあともそのまま続けられるような環境があれば、若い人も辞めず、離職する人も減ると思うから。
- ・職場の人間関係が良好なことが一番だと思う。保育について話し合うことができたり、同じ方向を向いて保育ができる職場の雰囲気があること。仲間として助け合える関係が築ける職場
- ・時間内で終わり、充実している。
- ・人間関係の面でいえば女性の多い職場でもあるため、周りとの良好な関係を築けるほうが仕事を進めていく上でも働きやすいと思う。
- ・人間関係が良ければ先輩や上司にも自然と、わからないことを聞ける環境ができキャリアアップにもつながるから。
- ・1番は福利厚生がしっかりしていたり、自分を出して仕事ができる環境だと思うため。
- ・プライベートと仕事を分けたいと考えているのと、人間関係を重要視しているから
- ・長期間勤務する為にはよりよい待遇を望んでいるから
- ・時々、粗末に扱われていると感じるので。
- ・長く働いていても安心！という確信を持てるから。
- ・"一年毎のペースアップはモチベーションにつながる。
- ・公私の時間は心をリフレッシュする意味でとても大事だと思う。
- ・どのような立場であっても、それぞれを認め、職員全体で助け合っていく雰囲気が、働きやすい職場だと考えるため

<退職したいと考えたことはありますか？>

退職したいと本気で考えたことはありますか？

51 件の回答



<ある>

- ・ 家庭との両立が難しかったり、自分の子どもと向き合えてるか悩んだ時
- ・ 家庭との両立に悩み。
- ・ 自分の仕事でやりがいを見つけられない。専門職のはずなのに、その専門性をいかせない。子どものためにならないと分かっている保育をせざるをえない。
- ・ 自分自身の能力に悩んで、退職を考えたことがある。
- ・ 保護者との関係に悩んで
- ・ 義父の介護が必要になったとき、仕事と両立できるか心配だった。
- ・ 日々の仕事量、精神的な圧迫感から。
- ・ 家庭との両立。親の介護が必要だと感じフルタイムで働けないならば退職しかないと思ったから。
- ・ 保護者からのクレームを受けたとき。職場の人からどう思われているのかと人間不振になったとき。
- ・ 上司の言動に今後の不安を覚えたから
- ・ 人間関係、給与の面において悩んでいた時期があったから
- ・ 人間関係。仕事量が多く、プライベートでも仕事の事ばかり考えてしまう。
- ・ 家庭のことと仕事の時間の両立に難しさを感じたり、求められてることに答えることがなかなかできず力量不足を感じ続けたとき。
- ・ 保護者との関係に悩んで
- ・ 上司への不信感
- ・ 同僚の人間性が、自分とは合わないのではないかと感じたとき
- ・ 人間関係がうまくいかなかった、仕事が思うように進められなかった

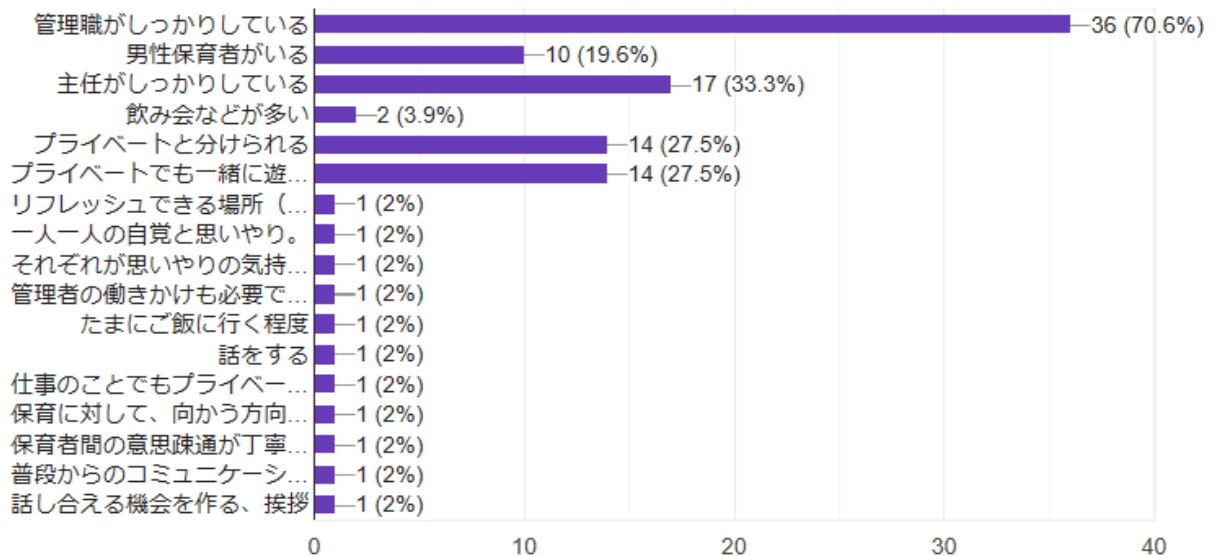
<ない>

- ・ 充実しているから
- ・ 尊敬できる保育者がいるから
- ・ 前職に比べ、良い環境で仕事ができているのでこのまま続けたいと思っている。
- ・ 今の職場に不満がないから
- ・ 居心地がいいから
- ・ 退職したいと悩むほどの出来事は今のところないため。
- ・ 大変なこともあるが、現時点では仕事もプライベートも充実しているため。また辞める理由がないため。
- ・ やめてやるとは思っても、やめたいと思ったことはありません。
- ・ やりがいがあるので思わない

<人間関係はどうすればよくなるか？>

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可）

51件の回答



<今の職場で改善してほしいこと（自由記述）>

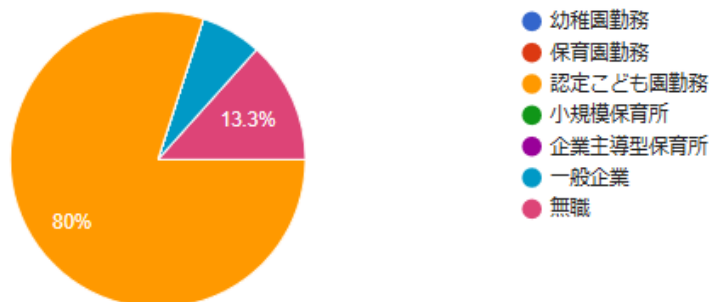
- ・共有で使えるパソコンを増やしてほしい
- ・全職員が定時であがる意識をもって仕事を進めていければいいと思う
- ・残業代を申請すればつけてもらえるが、申請しづらい雰囲気がある。
- ・新人の子が多くを求められることが多いが、その人らしさを認め、成長を見守りながら育てていく部分があってもよいのではないかな。
- ・居心地が良い環境作り。特に職員室がそういう環境であって欲しい。戻ってきて仕事をするときや、一息つくときも、やる気や拵りに繋がることだと思うから。
- ・"若い保育者の育成。長続きしない保育者が多い。"
- ・給与や福利厚生。家族経営なので、管理職がもっと職員に寄り添ってほしい
- ・労働規定、人間関係
- ・上司に人として、そしてスタッフとして、大切に扱われたいです。
- ・休暇を取りやすくしてほしい。仕事でも休憩時間がほしい。
- ・全てのパート職員がミーティングを通じて意見を言ったり、上司とも情報交換ができるようになること。
- ・職員の評価がなんとなく全体に伝わる雰囲気ではなく、みんなが認め合えるあたたかい雰囲気を作っていきたいし、それが子どもや保護者にも伝わっていくといい
- ・勤務時間、仕事内容

令和元年度 幼稚園の人材確保支援事業 アンケート結果 (退職者向け)

<勤務施設>

現在どの施設に勤務していますか？

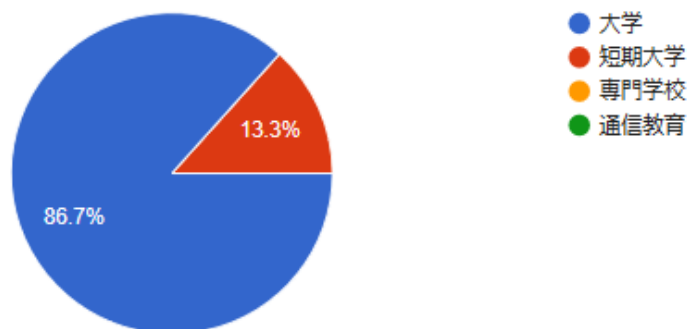
15件の回答



<養成校>

養成校はどちらでしたか？

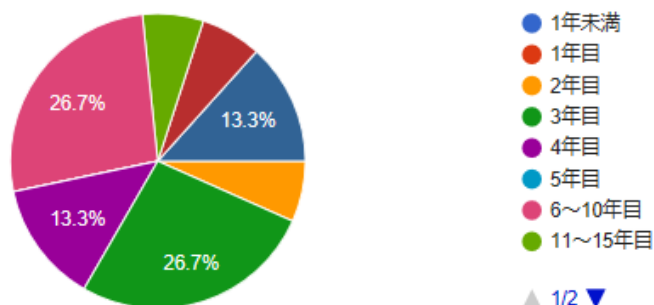
15件の回答



<退職年数>

何年目で退職されましたか？

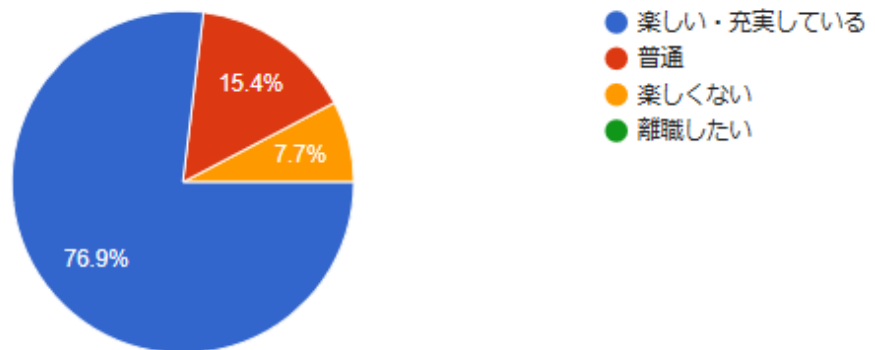
15件の回答



<在職中の仕事について>

在職中の仕事について教えてください

13件の回答



<楽しい・充実している>

- ・ 保育の方針、教育理念に共感でき、保育そのものを職員みんなで楽しめている感覚があるから。業務内容も適量。
- ・ 意欲的に仕事ができる環境があるから
- ・ 長時間の勤務を強要されたり、上司と合わなかったりするストレスがないため
- ・ 学びに繋げようと思いつながら日々過ごしているため。
- ・ 自分の理想とする保育を行なっている園だから。
- ・ 自分が本当にやりたい、子どものためになっていると実感できる仕事ができている

<普通>

理由なし

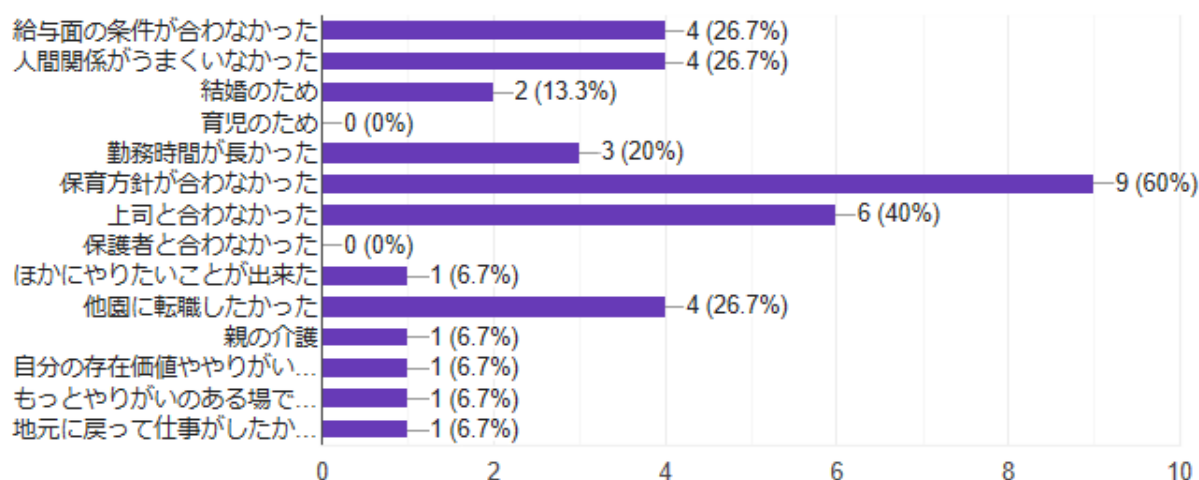
<楽しくない>

- ・ 昔は保育が充実していたし、職員全体が質の高い保育をしようという意識があり、自分たちの仕事にプライドを持っていたが、それらがすべて薄れ職員の雰囲気も大変なことはしないという感じになってきたため

<退職した理由について>

退職した理由を教えてください

15件の回答



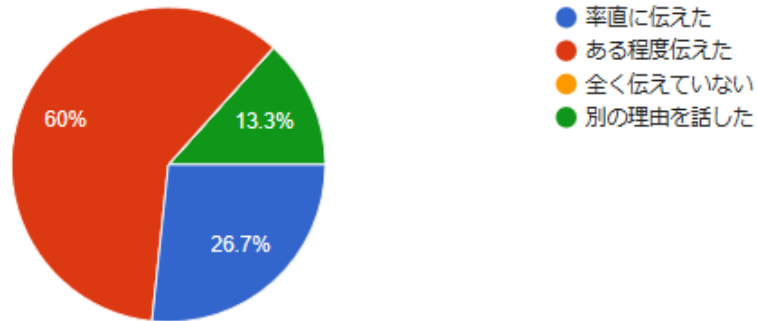
<退職理由（自由記述）>

- ・ 保育方針が合わなかった，他園に転職したかった
- ・ 給与面の条件が合わなかった，結婚のため，上司と合わなかった
- ・ もっとやりがいのある場で働きたかった
- ・ 給与面の条件が合わなかった，勤務時間が長かった，上司と合わなかった，ほかにやりたいことが出来た
- ・ 人間関係がうまくいかなかった，結婚のため，保育方針が合わなかった，上司と合わなかった
- ・ 給与面の条件が合わなかった，保育方針が合わなかった
- ・ 給与面の条件が合わなかった，人間関係がうまくいかなかった，勤務時間が長かった
- ・ 保育方針が合わなかった，上司と合わなかった，他園に転職したかった
- ・ 人間関係がうまくいかなかった，保育方針が合わなかった，他園に転職したかった
- ・ 勤務時間が長かった，保育方針が合わなかった，上司と合わなかった
- ・ 自分の存在価値ややりがいを感じなくなった。信頼できなくなった。
- ・ 人間関係がうまくいかなかった，保育方針が合わなかった，地元に戻って仕事がしたかった。
- ・ 親の介護
- ・ 保育方針が合わなかった，上司と合わなかった

<退職理由を正確に伝えましたか？>

退職理由を正確に伝えましたか？

15件の回答



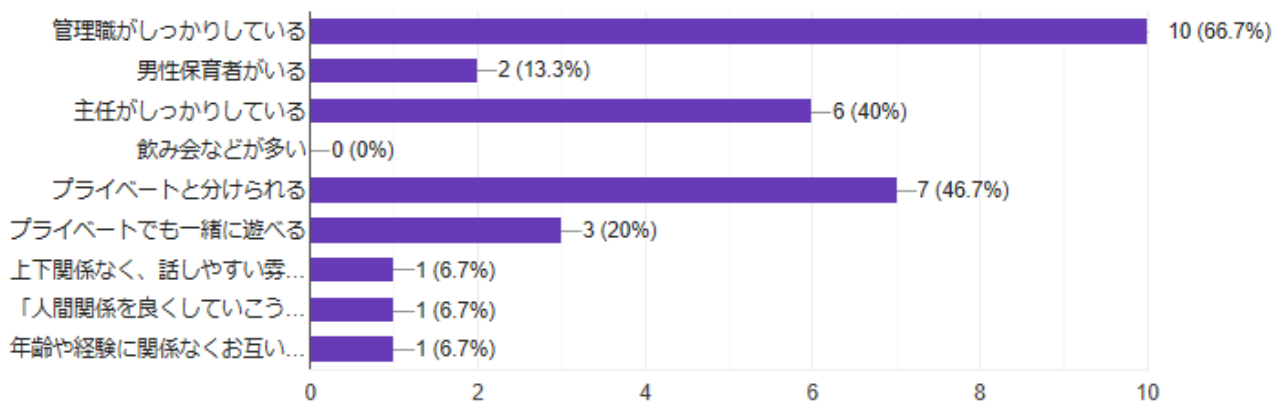
<理由を正確に伝えなかった理由（記述）>

- ・正直に話すと上司との関係が悪くなり仕事に支障をきたすと思ったため。
- ・上司が怖いと本人には言えませんでした。陰口をたたかれるため
- ・上司のことを面と向かっていえなかったから。
- ・あまり率直すぎると角が立つと思ったからたくさんの出来事の中で、どれが退職のきっかけになったのか、説明するのがとても難しかった。小さなことの積み重ねであり、とても複雑で、退職を伝えるときにはとにかく辞めたいという気持ちになっていた。そして、自分が辞めても残る後輩保育者たちや、子どもたちのことを考えると、伝えることが良いこととは思えなかった。

<人間関係はどうすればよくなると思いますか？>

人間関係はどうすればよくなると思いますか？（複数回答可）

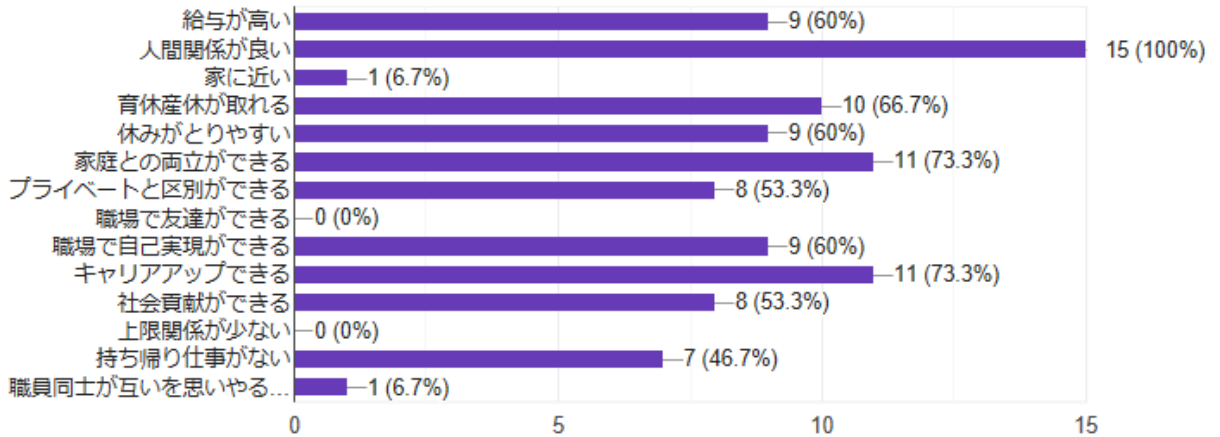
15件の回答



< 良い職場とはどのような職場？ >

良い職場とはどのような職場だと考えますか？（複数回答可）

15件の回答



< 良い職場とはどのような職場だと思いますか？（自由記述） >

- ・自分の仕事への対価として支払われる給与が低いと、どんなに楽しい仕事でもモチベーションが下がる。保育業界は、社会貢献度が高いのに給与は低いと思う。教職員の生活水準が高く、豊かであれば、それが現場の子どもとの関係において良い形で還元されると思うから。
- ・"馴れ合いでなく、良い保育仲間としてチーム力を高められる職場環境が理想的。年齢に関わらず、互いに高め合える組織。"
- ・職場で自分らしさを発揮できることと、プライベートの充実が良い仕事に繋がると思うから
- ・自分がストレスばかり職場で積み重なると、子どもに優しくできない気がします。
- ・どんなに勤務体制が整っていても、（表面上は良いけれど）人間関係がひどい職場では働くことができないと思っている。例えば、抑圧的な上司、かばってくれない主任保育者、それに怯えてイエスマンになっている保育者たちの園では、どんなに給料が高くても働きたいとは思えない。職員同士、互いの良さを認め、協力して保育できる場を望んでいる。
- ・プライベートを楽しめる時間とお金の余裕があることが、長く仕事を続けられる条件だと考えているから。
- ・長く勤めることができるから

<現職の保育者や管理職に向けてアドバイス（自由記述）>

- ・基本給アップとともに、残業代は1分からでも出せるようになるといいと思います。
- ・担任が振休などの休みを取る時に、申し訳ないと思いながら代わりの先生にクラスを見てもらう感覚があるので、その文化？が無くなるといいなと思います。
- ・みんなの意見が反映されること。一人一人の気持ちにゆとりがあること。立場に関わらずおかしいと思ったことをおかしいと言える環境、関係であること。その時の状況だけではなく、その背景になにがあったか、保育者の意図、気持ちに目を向けられる上司がいること。大卒な保育観のすり合わせ(同じ言葉を使っている意味が通じ合っていないなど)がぜんたいできていること、またそれをすり合わせする十分な時間があることが大事だと思う。
- ・管理職の方にはしっかりと現場を見てほしい。気にかけてもらえてもらうだけで、現場の保育者のモチベーションは上がると思う。
- ・利己主義じゃなく、利他主義になって欲しい。
- ・保育者一人一人の家庭事情を踏まえてくれるトップがいる園での勤務をお勧めします。
- ・"専門職であると言う意識を新人の時から育てていくと言う意識が大切だと思います。そして常に子どものためにどうかという視点で自分たちの保育を考えていくことも大切だと思います。
- ・できない誰かを責めるのではなく、温かい目で若手の保育者を育てていくことが大切なのではないかと思います。
- ・"管理職に対して：若い先生たちがいるからこそ保育が成り立っているのではないのでしょうか。どうか大事にしていきたい。“自分がある意味がここにはある”と、保育者一人ひとりが感じるができるように・・・そういう思いも持っていていただきたい。日々劳いの言葉を掛けてあげてほしい。
- ・現職の保育者に対して：今の状況が辛く頑張れないと思う時は、より良い場を求めて動き出してはどうでしょうか。今は保育者不足で、働く場はたくさんあるだろう。
- ・建設的な話によく耳を傾けること。部下磨き人を伸ばすのができる人。仕事のことだけではなく人として尊敬されるような自分磨きができる人。人柄。
- ・自分たちがどんな保育をしたいのかを常に会話したりする中で確認できることが大切だと思います。

アンケート結果の分析

【給与について】

給与については、特に学生が非常に注目している層がいることが分かった反面、在職者や退職者に関して、重要としつつも最重視していない様子が見取れる。

学生は、仙台と関東圏、仙台市内の各園をそれぞれ比較することができるため、保育内容よりも条件面を見る傾向にある。一部の学生の自由記述の部分に顕著に表れている通り、給与を最重視している学生の記述の仕方等に、一般的な社会通念が通用しない部分があるように見受けられ、学生の質が多極化しているといえる。

これらのことから、学生は給与を最重視している層と、給与は一定額あればよいという層に分かれ、在職すると、一定の給与は必要であり、かつ、給与に納得できるかどうか（労働条件も含めて）が重要になるというふうに変容するのではないかとこのように分析した。

【良い職場について】

良い職場について、3類型ともに、人間関係がトップに来ており、人間関係の調整がどこまでできるのかが、良い職場の条件としてみなされていることが分かった。

また、3類型ともに、人間関係をよくするのは、管理職がしっかりしているとの答えが圧倒的に多く、管理職に人間関係を調整してほしいという願いを多くの保育者が持っているということも興味深かった。

さらに、職場で友達を作りたいという思いを持つ保育者もいるが、基本的にはプライベートとは分けたいという思いの方が強いという結果になった。このことから、管理職とプライベートで話をしたり、いわゆる飲みにケーションと呼ばれるようなマネジメントが求められているわけではなく、勤務時間中に人間関係を調整するというかじ取りが求められていることも、本アンケートにより明確になったといっていだろう。

【まとめ】

処遇改善をする動きが加速度的に進んでいる。比較対象が多様化しており、特に関東圏の異常とも言っている給与体系（都県による家賃補助の制度）と比較すると、高い給与を求める動きもまた加速している状況にある。このため、給与に関しては、各園の工夫や努力ではどうにもならない格差が生まれている現状がある。

一方で、良い職場だと感じるのは人間関係がトップに来ており、かつ、その調整を管理職に求めているという現状が見受けられた。また、退職した保育者についても、人間関係、とりわけ上司との人間関係が理由で退職している側面もあることから、管理職の役割が非常に重要になっていることが分かった。

保育内容についても重視されている部分があるが、多くの保育者や学生は、働いているときにトラブルがなく楽しく働けるということにも重きを置いている。そのため、現職の保育者に対して、プロとしての充実度だけでなく、生活しやすい職場づくりを行いつつ、それをしっかりとアピールしていく必要がある。

3. 令和元年度 研修報告

社会保険労務士による 園長・設置者向け職員定着セミナー

①目的

養成校との連携、せんだい保育マルシェ、アンケート等を通じ、離職につながる要因の一つに人間関係があることがわかってきた。そのことから、保育の現場・業界に詳しい社会保険労務士さんに昨今の事情等も踏まえ、園長、教頭、主任等に良い人間関係とはいかなるものかの講演をしていただく必要があると考えた。

②内容 ※38名参加

12月14日（土）

東京エレクトロンホール宮城 会議室

10:00～12:00 主任向け研修

13:00～16:00 園長向け研修

講師 特性社会保険労務士 平 幸次 先生

③反省・評価

『いい職場』の条件は『良好な人間関係があること』であることから、『良好な人間関係にしていく』には「園長等の管理職がしっかりしていること」ではないか。この法則に倣い、保育業界に詳しい社会保険労務士の平さんにご講演を頂いた。講演の中で「人を使っている」といった上から目線の言動ではなく、今の若手保育者の特性を十分理解しながら、寄り添う姿勢をいかに出していくかを繰り返しご指導くださった。県内外から多くの参加者があり、質問も途切れないほど参加者も熱心に受講していた。そのことから、いかに現場サイドは若手保育者の離職や、新規採用に苦慮しているのだということが、改めて実態として浮かび上がった。アンケートの結果等を受け、次年度以降「よい職場・よい人間関係」とはいかなるものかの具体的なイメージや方策を明らかにし、現場に伝えていかなければならないと考える。

【視察研修】 認定こども園めぐり バス・ツアー開催

令和2年1月16日 23名参加

《午前視察》 仙台市青葉区
《午後視察》 仙台市泉区

認定こども園森のこども園
認定こども園やかまし村



車の方が都合が良い型は、集合場所の園に集まり、公共の交通機関の方は仙台駅に集合し、大型バスに乗車した。

大型バスの中は、参加者が定員に満たなかったため、ゆったり座ることが出来、マイクを回しての自己紹介の時間を設けることが出来た。

各園の実質的なリーダーを中心に、現場の保育者も参加したことで、幅広い年齢と立場の参加者がそれぞれの想いを語り、徐々に期待感が高まっていった。

宮城学院女子大学に到着し、敷地内にある森のこども園では、園長の沢田石先生が出迎えてくださった。

沿革や設計や園庭のコンセプト、保育の取り組みについての説明がなされ、その後2グループに分かれて、細かく視察をしていった。





1 森のこども園の特徴的な構造。伝統的な工法で建てられ、開放感のある大空間をしっかりと支える骨組みに身になっていた

2 園庭にはあえて遊具を配置せず、子どもたちの想像力を最大限に引き出す構造になっている。しかし、森ともつながっているため、何も無いようですべてがある空間になっているのだ。

3 厨房の中は、子どもたちが見ることが出来る設計になっていることで、生活時間の長いこども園の中で、生活体験の獲得に一役買っている。

4 保育の中で子どもたちが遊んだことを書いていくことのできる掲示物。自分たちの遊びが繋がっていくオリジナルのポートフォリオになっている。

ベテラン保育者は保育の考え方や初めての人に伝えるスキルを、若手の保育者は、新たな保育の考え方に触れる機会となった。

若手保育者の感想の中に、「自園の保育環境との違いを感じた。どのように保育をしているのかわからなかったが、先生の話聞いて、いろいろな考え方があることに触れることが出来、自分でもっと考えていきたいと思えた。」というものがあつた。



泉区のだかな田園地帯に風景が広がる地区の一角に、昔からたたずんでいるかのような趣のある園舎が認定こども園やかまし村だ。

こちらの園では、保育はもちろん、一時預かりやカフェ、子ども食堂に学童まで、幅広く事業展開を行い、地域はもちろん、他の地域からも入園希望者が後を絶たない園だ。

一人一人のやりたいことをとことん追求し遊ぶ半面、そこでの学びを保育者が汲み取り、プロジェクトとしてこどもの生活に色どりを添えることで、対話的で深い学びがいたるところで起きている。

1

食育に定評のある認定こども園みどりのもり を姉妹園に持つやかまし村だけあって、保育室には流しと調理台があり、いつでも調理をすることが出来る

2

保育室には、子どもたちが遊んだ形跡があふれていた。また、その遊びが継続できるように、丁寧な環境が作られており、見学している保育者の目も輝いていた

3

子どもの興味に合わせて繰り広げられるプロジェクト型保育。きれいにそろった無数の瓶の中には、染め物の材料が写真と字とともに陳列されている

4

いわゆる遊具は最小限の園庭だが、トンネルや木、築山など、体を豊かに動かすことのできる園庭の構造となっていた。



今回のバスツアーを通して、特に若手の保育者は、2園と自分の園を比較しながらゆっくりと実践に触れうることが出来た。

なかなか、実践を間近で見ながら、園長先生のお話をお聞きする機会は少ない。この実践と理念、双方に触れるという子とは、貴重な経験になったはずだ。

実践と理念に触れながら、自園の保育環境や働き方、また、子どもへの姿勢について、内省していった参加者たち。

ある参加者は、「園庭の構造一つとっても全く違った。森のこども園は園舎を中心に園庭があり、やかまし村は園庭を中心に園舎が配置されていた。園庭の考え方も全く違っていたが、子ども一人一人のことを考えていることがよく分かった。自分の園で、園庭でどのような遊びを提案するか、もう一度考えてみたい」と話していた。

ベテラン保育者は、若手保育者とのコミュニケーションの在り方を念頭に見学し、若手保育者は、保育の知見と引き出しをつかみ取りながら見学をしているように見えた。

じっくり見ることが出来る人数であったことで、個別の質問もすることが出来た参加者。最後に自園での取り組みに前のめりに考え始めた参加者を見ると、離職防止のためには、他園との交流を増やし、様々な考えに触れることで、主体性や所属意識の高まりが期待できるのではと感じた。

せんだい保育マルシェ報告

【日時】 令和1年9月1日(日)9時～16時

【場所】 泉チェリーこども園、及び、泉第2チェリーこども園

【対象】 学生・幼稚園関係者・こども園関係者・養成校教員・学生の保護者等

【目的】 様々な立場の人間が一同に会し、宮城県の保育者の離職や、学生の保育現場への就職率

の向上について活発な議論を行う場の構築を目指す。

【目標】 ①シンポジウム会場においては保育に携わる様々な立場の人間が議論を交わし、保

育者の離職や学生の就職率が低迷する現状の原因を明らかにする。

②マルシェや各園の出店ブース、実技習得会場等を通じ、これから就職を目指す学生

により保育現場が身近な物になるようにする。

【実施内容】 泉チェリーこども園・泉第2チェリーこども園を会場に以下テーマでシンポジウム及び実技の講習会を行った。

泉チェリーこども園 開催行事

○9:15～11:00 ★「魅力的な職場とは～学生から管理職まで～」

登壇者 学生・・・女子学生 (東北福祉大学4年生)

若手保育者・・・女子保育者 (認定向山こども園)

主任・・・女子保育者 (認定こども園泉ヶ丘幼稚園)

園長・・・関 澄子 (認定こども園福聚幼稚園)

養成校教員・・・和田 明人 (東北福祉大学教授)

参加者 87

名

○11:00～11:30 ★「こども園・幼稚園とは？～保護者向け概要説明～」

講師：小島 芳(認定こども園みどりの森・やかまし村園長) 参加者11名

○11:00～12:00 ★「若手が作る良い職場～3園の事例から～」

登壇者 男子保育者 (認定こども園みどりの森)

女子保育者 (認定こども園森のこども園)

女子保育者 (立華認定こども園)

東 義也 (尚綱学院大学教授)

参加者34名

○12:30～14:00 ★「悩みを話そう！若手～ワールドcafé～」

司会 上村 裕樹 (聖和学園短期大学 准教授)

参加者19名

14:30～16:00 ★「悩みを話そう！中堅～ワールドcafé～」

司会 上村 裕樹 (聖和学園短期大学 准教授)

参加者12名

泉第2チェリーこども園

○11:00～12:00 ★「学生が考える良い職場～4名の学生によるシンポジウム～」

登壇者 女子学生 (宮城学院女子大学4年生)

女子学生 (尚綱学院大学4年生)

女子学生 (仙台青葉短期大学2年生)

磯部 裕子 (宮城学院女子大学教授)

司会 庄子真由美 (認定こども園泉ヶ丘幼稚園 園長)

参加者33

名

○11:00～12:00 ★「主任が作る良い職場～3園の事例からのシンポジウム～」

登壇者 女子保育者 (認定こども園福聚幼稚園)

女子保育者 (ろりぽっぷ幼稚園)

男子保育者 (新田すいせんこども園)

○12:30～14:00 ★「教えて！良好な関係を～後輩・部下との付き合い方～」

講師： 佐藤 和美 （仙台青葉学院短期大学 講師）

参加者16名

○12:30～14:00 ★「すぐ使える！手遊び講座」

講師： おもちゃ箱（男性保育者有志の子育て支援グループ）

参加

者 65名

○14:30～16:00 ★「生き残る園を考える～現役園長のシンポジウム～」

登壇者 加茂 光孝（ろりぼっぶ幼稚園 園長）

菊田 秀昭（立華認定こども園 理事長・学園長）

四釜 喜愛（食と森の保育園小松島 園長）

司会 木村 創（認定向山こども園 副園長）

参加者16名

○14:30～16:00 ★「すぐ使える！素話・絵本・紙芝居講座」

講師 庄子 真由美（認定こども園泉ヶ丘幼稚園 園長）

参

加者71名

○14:30～16:00 ★「緊急シンポジウム開催ミシュランプロジェクト」

東北福祉大学学生による緊急シンポジウム及びポスターセッション

参加者

12名

○終日 「幼稚園・こども園出店ブース」 ・ 「マルシェ」

まとめ

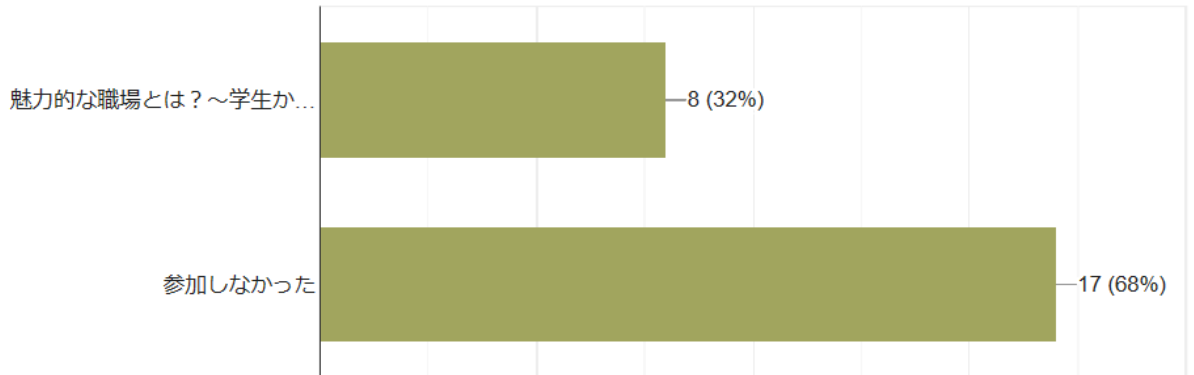
立場の違う人たちが同じテーマでそれぞれの思いを忌憚なく、自分の思いや考えを活発に議論ができるということが一番の目的としたことから、あまり大きな会場ではない方が参加者も意見を出しやすいのではないかと考え、こども園の保育室を会場にと考えた。やはりその点は非常に良かったようで、すべての会場で活発に意見が交わされたようである。また、立場の違いはありながらも、離職率が高いことや学生の保育現場への就職率が低いことを「保育」という視点で議論出来たことにより、参加者皆々が当事者であるという意識を共有出来たのではないかと考える。宮城県において、養成校と一緒に離職や就職率向上について考える契機となったことも、大きな成果だった。

留意点としては相当早くからチラシ等で知らせたものの、夏季休業中ということもあり、学生の参加者が想定よりは少なかった。保育マルシェというイベント名が浸透していないということもあり、中身がわからなかったため、参加意欲が出なかったのではないかと考える。また、県内の幼稚園にも広く呼びかけたが、参加率が高くなかったことが大きな課題である。幼稚園側も若手職員の早期離職や、保育者確保に苦慮しているのは、各々の園に個人的に話しをしている中では共有できるが、具体的にどう動けばいいのかわからないのではないかと印象を持った。いずれ次年度もこの企画を継続する中で、幼稚園の参加をどう増やしていくかも課題の一つである。

せんだい保育マルシェ アンケート結果

開会～10:00 イベント

25件の回答



ご感想をお聞かせください

20

5件の回答

真摯なご意見とても良かったです。職場の上司に報告したいと思っています。

立場、立場での思い、考えは違うので如何に職員の気持ちをまとめていくか？今の課題でもあります。

発表された園長先生はじめ、先生方、学生の方お疲れ様でした。

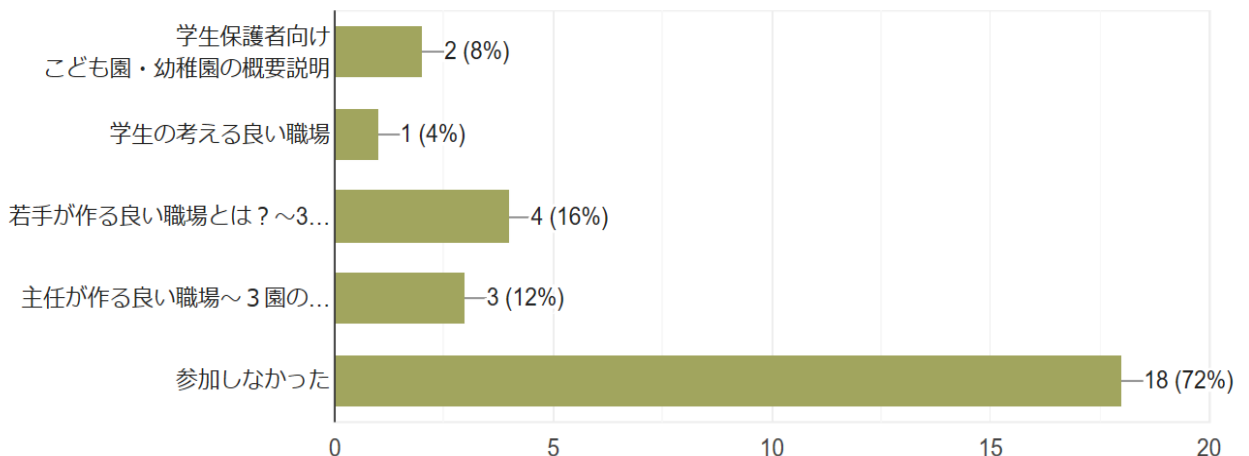
学生さんや園長先生の立場からのお話もあり、考えさせられる内容が多くありました。

いい意見等を聞いて為になりました

様々な経験年数の話しが聞いてとても勉強になりました。やはり働きやすい職場を各園工夫しているのがわかった。学生が何を考えて何を求めているのかもわかった。意識の高い学生だと得る物も多いがそうでない事もあるのも現実だと思います。

10時からのイベント

25件の回答



感想をお聞かせください

5 件の回答

現役の先生方のお話を聞いて、とても勉強になりました。

良い職場を作るための3園の取り組みを知ることができてよかったです。

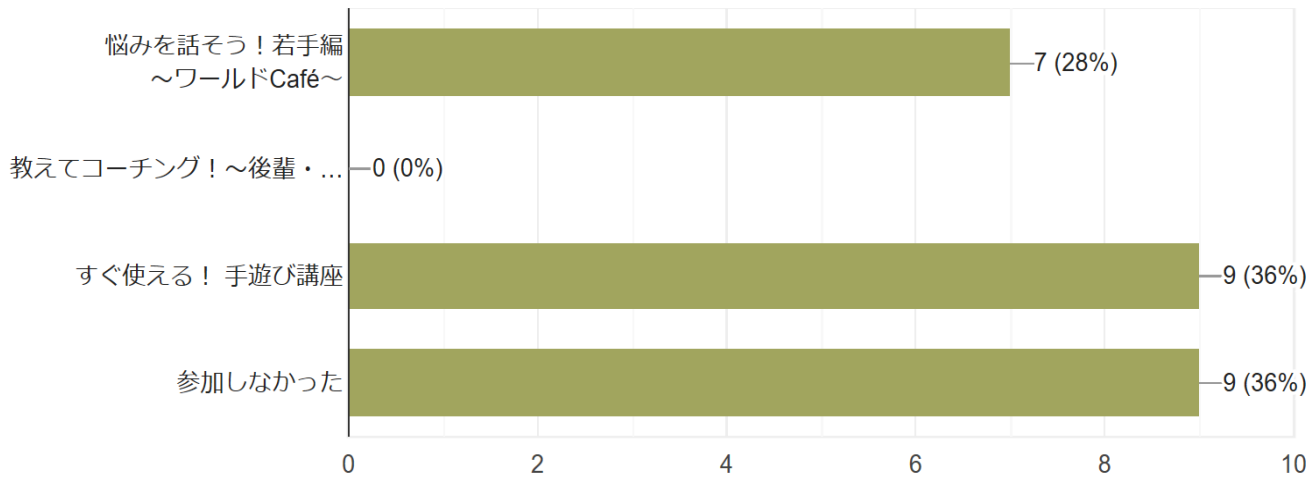
実際の退勤時間など現実を知ることができました。

分かりやすく聞かせて頂きました。

各園の工夫特色をアピールできる場があるのはとても良かった。

12時半からのイベント

25 件の回答



感想をお聞かせください

5 件の回答

現役の先生方のお話を聞いて、とても勉強になりました。

良い職場を作るための3園の取り組みを知ることができてよかったです。

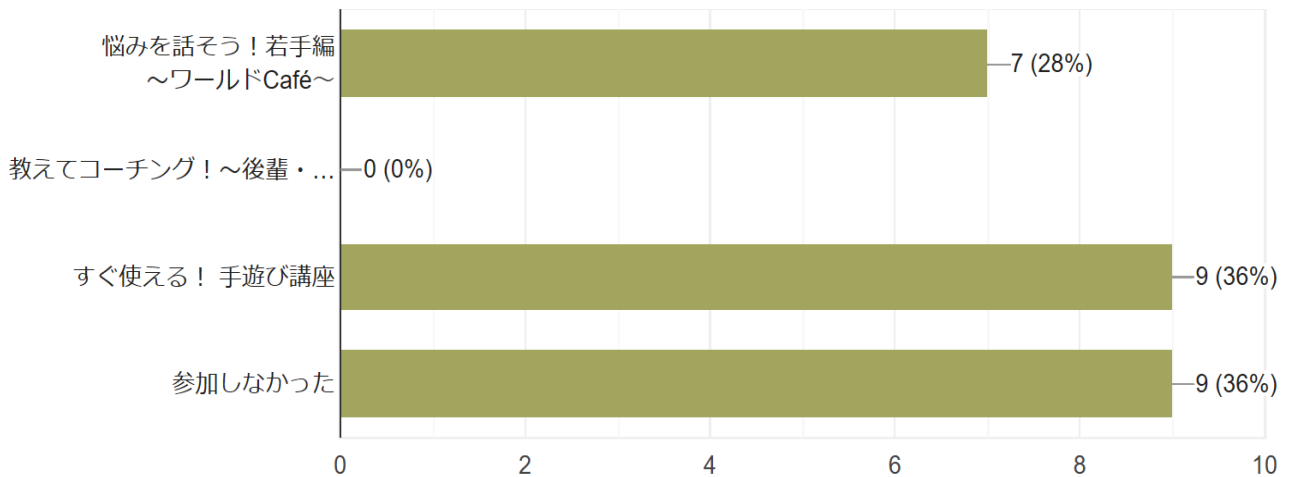
実際の退勤時間など現実を知ることができました。

分かりやすく聞かせて頂きました。

各園の工夫特色をアピールできる場があるのはとても良かった。

12時半からのイベント

25 件の回答



感想をお聞かせください

5 件の回答

現役の先生方のお話を聞いて、とても勉強になりました。

良い職場を作るための3園の取り組みを知ることができてよかったです。

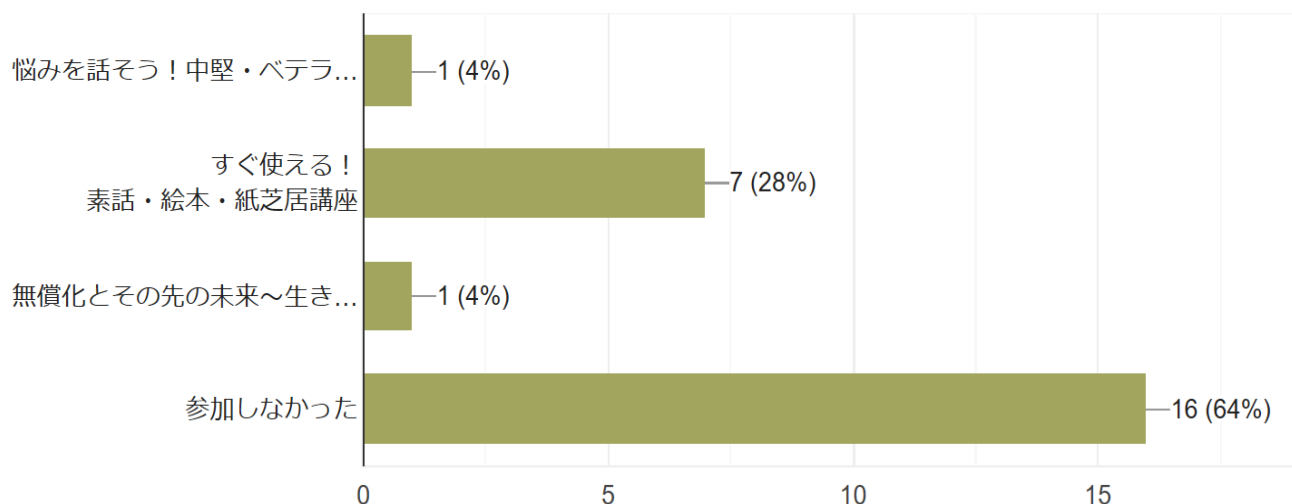
実際の退勤時間など現実を知ることができました。

分かりやすく聞かせて頂きました。

各園の工夫特色をアピールできる場があるのはとても良かった。

14時からのイベント

25 件の回答



感想をお聞かせください

5 件の回答

また話し聞きたいと思いました。

分かりやすく聞きやすかった！

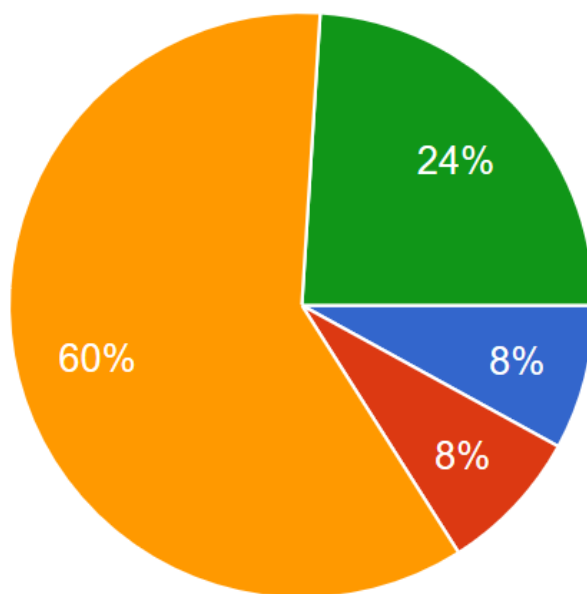
経験年数は違いましたが、お話が出来て良かったです。同じ悩みのある方々との話は、もっと時間が欲しかったです。

あっという間の時間で、聞く側の気持ちをぎゅっと掴む素敵な講座でした。明日から実践していきたいと思います。

絵本、紙芝居の選び方読み方などとても分かりやすく、楽しく教えていただき良かったです。

その他イベント

25 件の回答



- 福祉大学生によるポスター発表
- 園の紹介ブース
- マルシェ
- 参加しなかった

ご感想をお聞かせください

7 件の回答

ポップコーンが美味しかったです。

カレーがおいしかったです。

フランクフルトが美味しかったです。

可愛いものが沢山あって楽しめました。

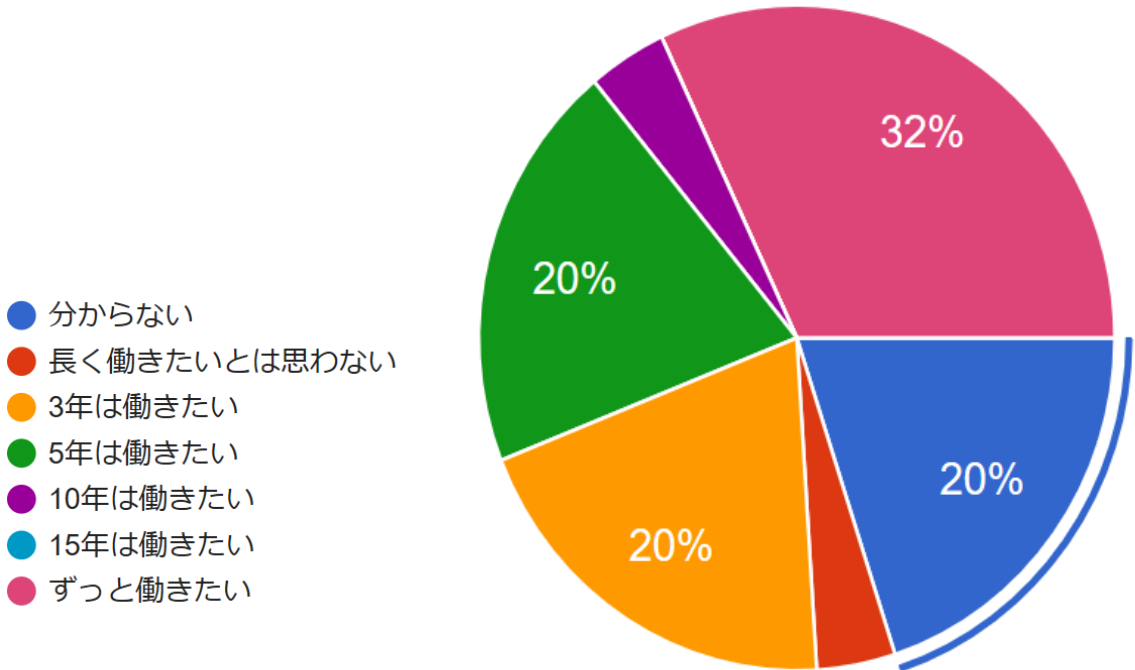
紹介ブースだけではなく、必ず何か講座をしていたため、どの園も学生が少なかった感じがしました。午前中は講座、午後は各園の紹介と区切るのはいかがでしょうかと思いました。

いろんな方のブースがあって面白かった

色々なブースがある事で和やかな雰囲気になり良かったと思います。

長く働きたいと思いますか？

25 件の回答



その他ご意見がございましたらお聞かせください

4 件の回答

現在、嘱託の年齢の為、長く働きたい気持ちはありますが...体力と年齢のはざまにあります。

ネームプレート...学生さん、運営、先生などと色別にするのが良かったのでは。参加した園の職員が休憩出来るお部屋があるといいのでは。今回会場になりました、チェリー、第2チェリーの先生方ありがとうございました。

ありがとうございました

現役職員もとても勉強になる講座がたくさんありとても勉強になりました。次回もお手伝いする事があればと思います。

保育現場の働き方考えよう 早期離職防ぐマルシェ、仙台で開催

認定こども園や幼稚園での早期離職を防ぐと、保育現場の働き方を考える「せんだい保育マルシェ」が仙台市泉区の泉チェリーこども園、泉第2チェリーこども園であった。保育関係者や学生、地域の親子連れなど大勢の人でにぎわった。

全国認定こども園協会宮城県支部が主催。若手からベテランまで各ニーズに合わせた講座や、魅力的な職場をつくる討論会などを行った。

屋外では市内10以上の出店者が食品や雑貨などを販売し、参加者が気軽に出入りできるようにした。

「職場環境の改善は目下の課題。買い物も楽しみながら、保育関係の催しをマルシェのように回ってもらいたい」と立華認定こども園（宮城野区）の菊田秀昭学園長（52）は説明する。

食品などを販売するマルシェは泉第2チェリーこども園が2年前に開始。今回は初めて、勉強会などと組み合わせて実施した。同園の工藤俊平園長（38）は「宮城は認定こども園の数が全国でも最低水準。マルシェなどへの参加を通じ、こども園への関心を高めたい」と話す。

青葉区のパン店スタッフ冠木（かぶき）直美さん（37）は、3人の子どもを連れて出店。「日曜のイベントに出るときは預け先に悩むが、ここなら子連れでも安心できる」と笑顔で話した。

保育マルシェは1日に開かれた。



雑貨店などが出店し、学生や親子連れでにぎわったマルシェ

拡大写真



河北新報
ONLINE NEWS

《おわりに》

文部科学省委託事業「幼稚園の人材確保事業」を採択し、1年に渡り様々な事業を行った。その中でいくつか成果を得た。一つは養成校との連携を確かなものにしたことである。宮城県は養成校が多く、養成校毎に幼児教育の専門の先生がいらっしゃるという大変恵まれた環境であるが、今までは大学と連携して何かを行う機会等は非常に少なかったことから、今回の「せんだい保育のマルシェ」を協同して行ったことで、両者の中に「宮城の、そして、仙台の保育の質の向上を図りたい」という共通の思いがあることもわかった。今回の委託事業をきっかけに、今後は更に様々な面での連携を深めていきたいという気持ちであることも私共と養成校側と互いに確認できた。これは非常に大きな、大きな成果になったといえる。

次に保育者の離職理由がおぼろげながらわかってきたことである。給与が低いとか、仕事がきついつとか、帰る時間が遅い等の理由での離職はあまりなく、むしろ仕事への意欲がそがれるような要因の方が上位にあげられる理由であるということがわかった。

幼稚園教諭・認定こども園保育教諭は、未来ある子どもたちの人生の中で一番大事な基礎を養う時期に関わることができる仕事だ。実際、学生さんは、保育者を目指して養成校で学び、専門家として学びを深めて、その憧れの仕事に就くという『誇り』と『高い志』を持って各校で学んでいる。そのような（意欲と志ある）学生さんを受け入れる素地が、私たち現場の方に、果たして、用意されているのかということは今一度考えていかなければならない。学生さんが入職後、自分が思っていたのと違うという現実直面した時に、離職を選ばず「それでも保育という仕事を続けていきたい」と思えるように、様々な方策を講じていくことも必要であると考える。

「幼児教育の質を高める」このテーゼを否定するものは誰もいない。しかし、現実には保育者若年層の離職が相次ぐ以上、専門職としてキャリアを積んでいくことができる者は極少数なのである。このような現状の中で、いくら「質の向上」と叫んでも担う人材が育たないのであれば本末転倒である。本事業を通じ、若年層や学生の離職や新規採用の促進を目指して調査を続けてきたが、実際はどの層にとっても良い職場作り、また、本当の意味での「すべての子どもの最善の利益を」を実現できる保育現場であれば、きっと離職も減り、新規採用職員も増え、人材不足に悩むこともなくなるのではないかと。それこそが結果的に保育の質の向上にもつながっていくのではないかと考える。

私共、全国認定こども園協会宮城県支部は、引き続き、本年度事業の調査・事業実践を深め、次年度事業へ活かしていきたい（令和2年度事業も全国認定こども園協会宮城県支部として採択決定をいただいた）。